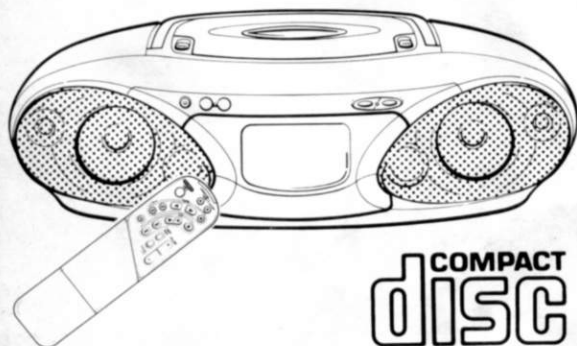


## CDラジオカセットレコーダー 品番 PH-PR910 取扱説明書

このたびは、お買上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使い  
ください。  
また、後々のために「保証書」とともに大切に保存してくだ  
さい。



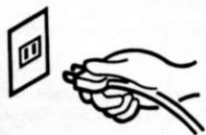
COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

取扱説明書、本体には色記号の表示を省略しています。  
包装箱に表示している品番の( )内の記号が色記号です。

も く じ	ページ
<b>ご使用の前に</b>	
●正しく、安全にお使いいただくために .....	1
●各部のなまえ .....	2～7
●電源について .....	8～9
●リモコン操作について .....	10
●時計の合わせかた .....	11
●パネルの開閉のしかた .....	12
<b>共通な操作のしかた</b>	13～14
<b>聞きかた</b>	
●CD演奏のしかた .....	15～20
●テープを聞くには .....	21～24
●ラジオ・テレビ音声を聞くには .....	25～32
<b>録音のしかた</b>	
●録音をする前に .....	33
●CDを録音するには .....	34～48
●オートエディット録音 .....	37～38
●フェードアウトバックスキップエディット録音 .....	39～40
●タイムエディット録音 .....	41～42
●プログラムエディット録音 .....	43～44
●コンティニユアスエディット録音 .....	45～47
●マニュアル録音 .....	48
●テープをダビングするには .....	49～51
●ラジオ・テレビ音声を録音するには .....	52
<b>他の機器を接続して使うには</b>	53～54
<b>タイマーの使いかた</b>	
●タイマーで音楽を聞くには .....	55～57
●留守録音をするには .....	58～60
●音楽を聞きながら眠る(スリープ)には .....	61～62
<b>その他の機能・ご参考に</b>	63～69
<b>アフターサービスについて</b>	70
<b>仕 様</b>	裏表紙

# 正しく、安全にお使いいただくために

## 電源プラグの抜き差しは



- 必ず電源プラグを持って行ってください。
  - ぬれた手で抜き差ししますと感電するおそれがあり、非常に危険です。
  - コードを折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎたしたりしないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ずACコードをコンセントから抜いておいてください。

## 水やほこりをきらいます



- 水がかかったらただちに使用を中止して、お買上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあり、非常に危険です。
- ほこりの多い場所で使用すると故障の原因になります。

## 高温になる所に放置しないように



長時間直射日光の当たる所、暖房機などの近くで使用したり、放置しないでください。  
60°C以上の高温になると、キャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。

- 長時間使用していますと、キャビネットの一部が熱をもつことがあります異常ではありません。

## 磁気についてのご注意



本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、時計、クレジットカードなどの磁気カードや、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本機のそばに置かないでください。

## 持ち運びするときは



- ディスクを必ず取り出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。
- 電源を切ってください。
- 本機を設置するときは、傾かないよう、必ず水平の状態にしてご使用ください。

## 内部には絶対に触れないように



- 分解したり、改造したりして内部に触れると、感電や故障の原因になります。
- 内部に金属類(針、ヘアピンなど)を差し込むと感電や故障の原因になります。

CDプレーヤー一部に使われているレーザー光は目に当たると危険です。  
分解したりして誤ってレーザー光が出ると危険です。

## 露(水滴)の発生について



周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあります。  
この状態では正常に演奏できないことがあります。このような場合、ディスクを取り出してCDトレイを開けたまま、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。

## 音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時と場所に依じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたりヘッドホンをご使用にするのも一つの方法です。

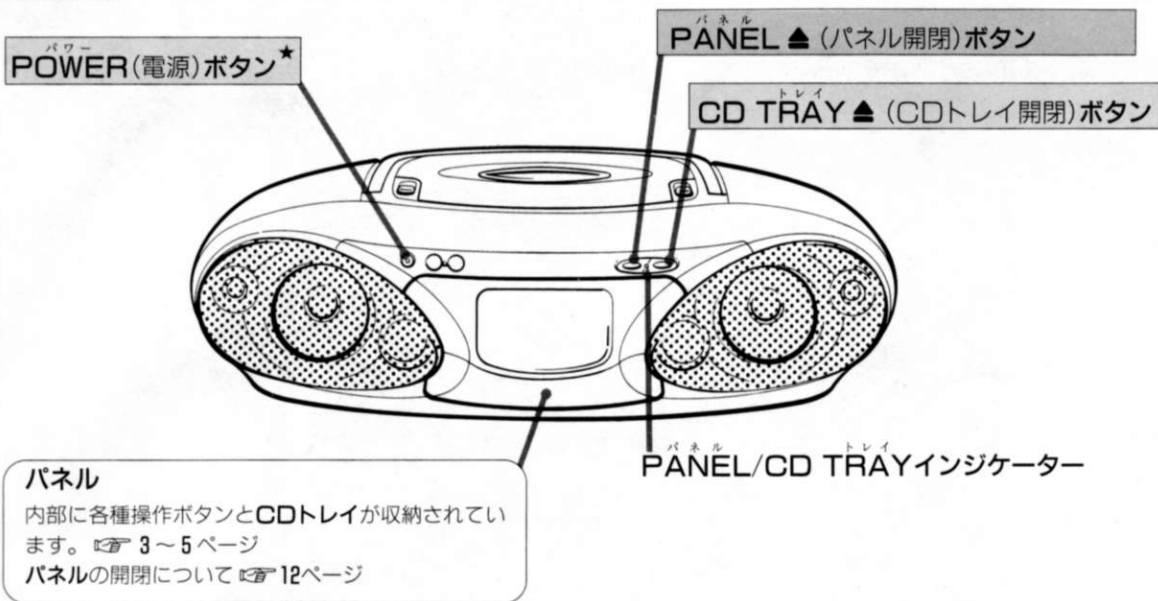
万一、本機に異常を生じたりACコードがいたんだ場合には、ご使用を中止しお買上げの販売店にご相談ください。

# 各部のなまえ

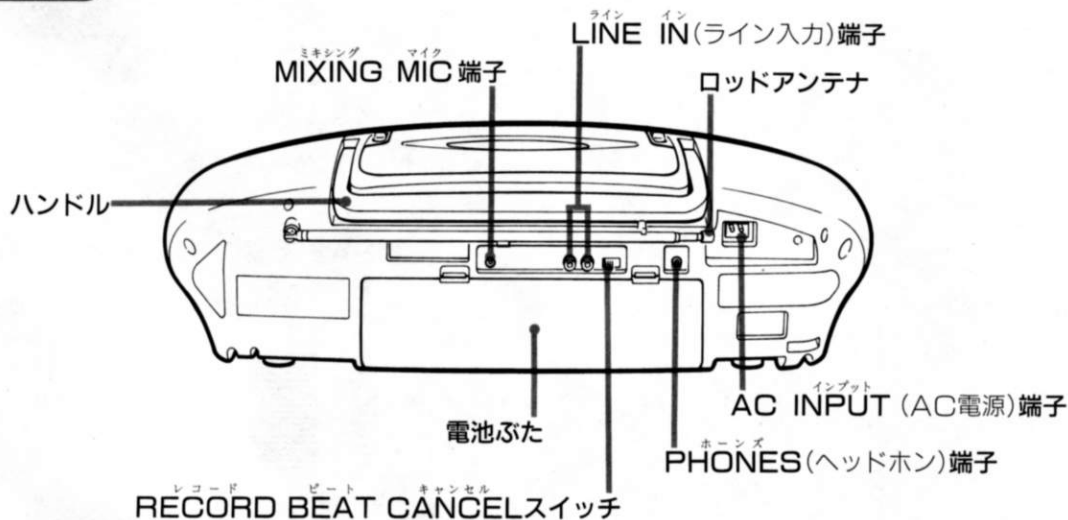
色の部分は、リモコンで操作できます  
★表示の操作部はインジケータ付きです



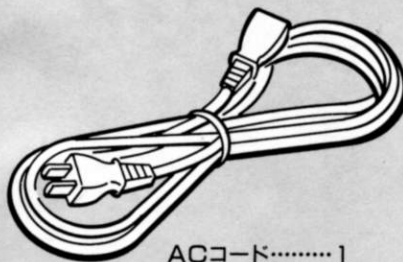
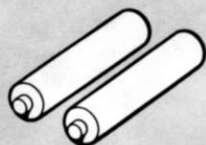
## 正面全体図



## 背面図



## 付属品をお確かめください



# 各部のなまえ (つづき)

色の部分は、リモコンで操作できます  
★表示の操作部はインジケータ付きです

## チューナー部／総合部

ファンクション  
**FUNCTION** (動作切換) ボタン★  
チューナー時は、バンド切換機能があります。

ボリューム  
**VOL** (音量) ボタン  
+と-ボタンがあります。

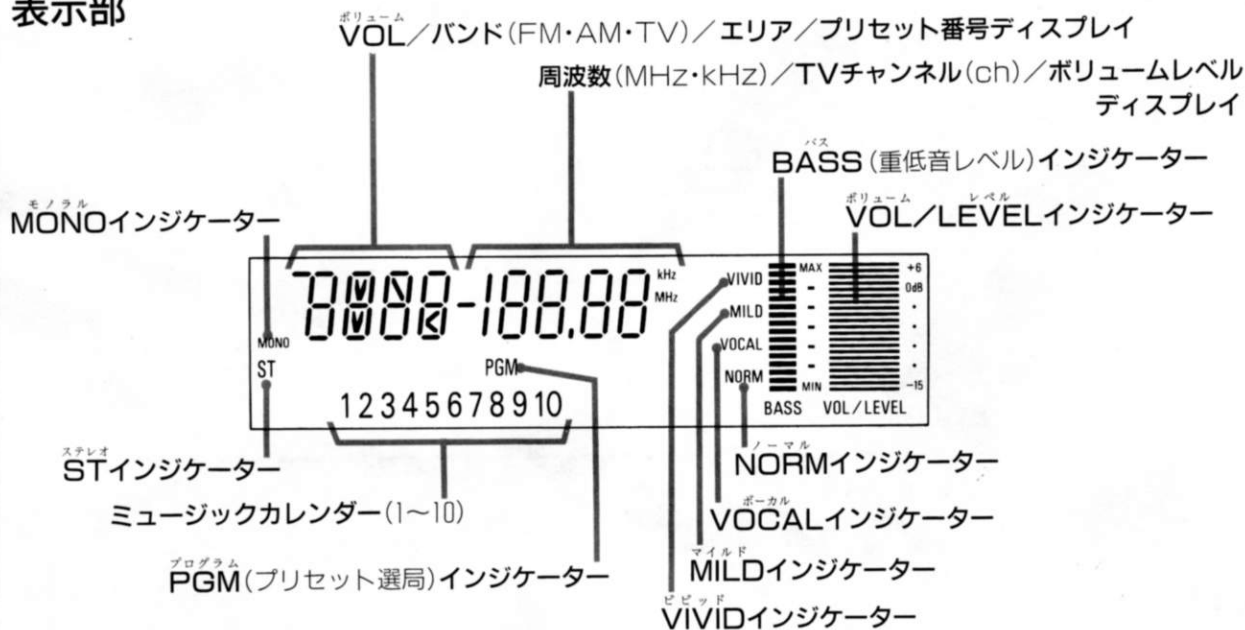
表示部

サウンド  
**SOUND** (音質切換) ボタン★

チューニング  
**TUNING** (選局) ボタン★  
+と-ボタンがあります。

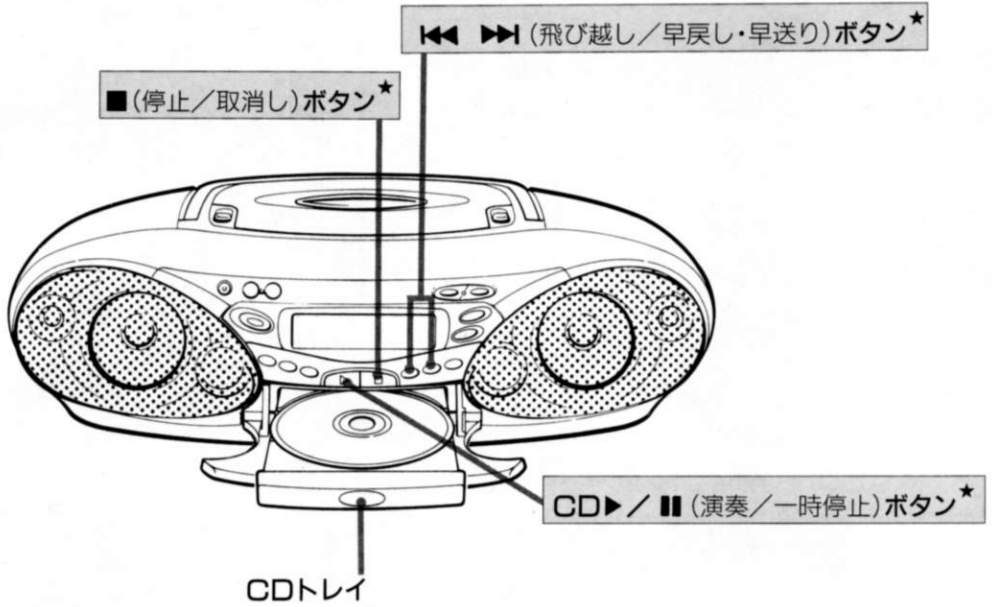
ボリューム  
**VOL** (音量) インジケータ

## 表示部

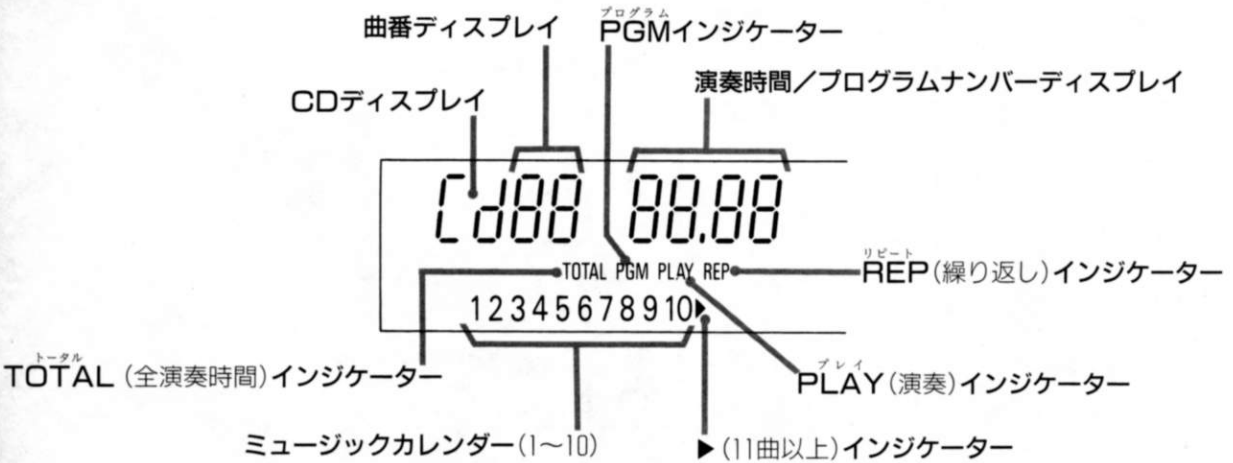




CD部



表示部

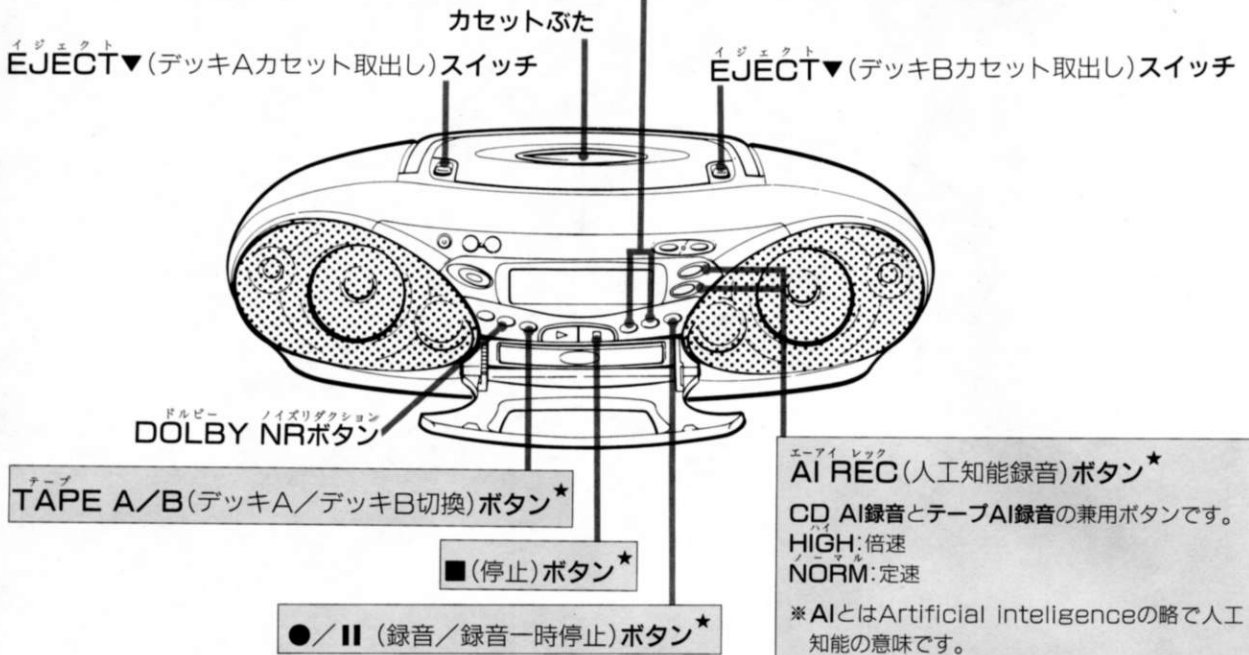


# 各部のなまえ (つづき)

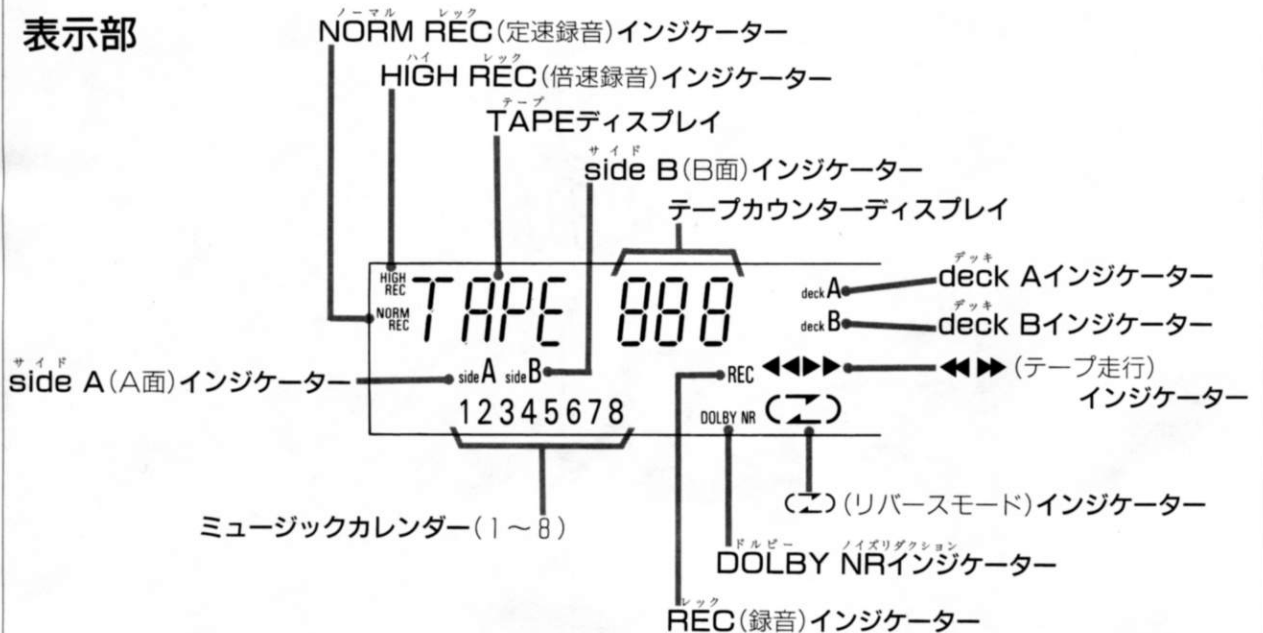
色の部分は、リモコンで操作できます  
★表示の操作部はインジケータ付きです

## デッキ部

テープ  
◀◀TAPE▶▶ (再生/録音スタート/早巻き/自動頭出し) ボタン★  
約1秒以上押すと早巻き/自動頭出し機能となります。



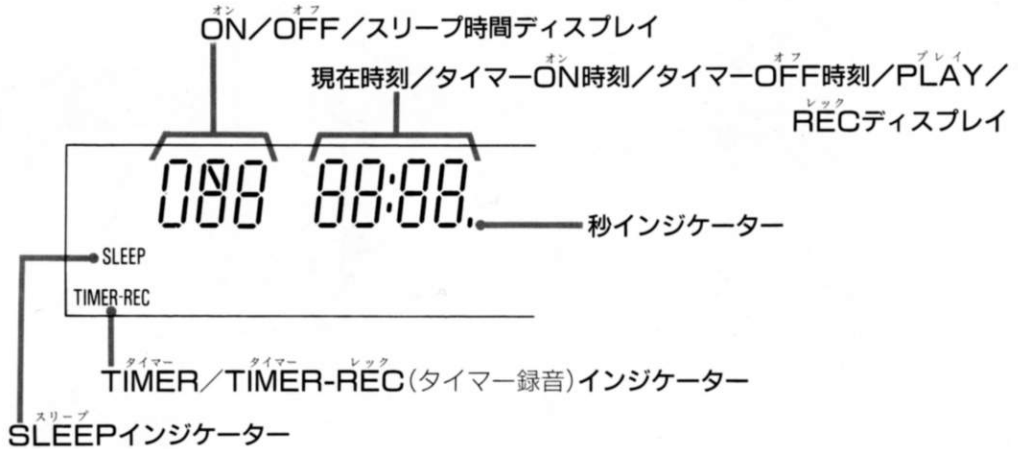
## 表示部



## 時計／タイマー部

時計／タイマー部の操作はリモコン側となります。

### 表示部



## リモコン (基本操作部)

**POWER (電源) ボタン**  
ACコードを接続しているとき、電源を入れることができます。乾電池でご使用の場合は、本体のPOWERボタンで電源を入れてください。

### テープ操作部

- (停止) ボタン
- ▶ (おもて面再生/録音スタート) ボタン
- ◀ (うら面再生/録音スタート) ボタン
- ◀▶ (早送り/自動頭出し) ボタン
- ▶◀ (早巻き/自動頭出し) ボタン
- A/B (デッキA/デッキB切換) ボタン

PANEL-OPEN/CLOSE (パネル開閉) ボタン (▲)

CD TRAY-OPEN/CLOSE (CDトレイ開閉) ボタン (▲)

### CD操作部

- (停止/取消) ボタン
- ▶/|| (演奏/一時停止) ボタン
- ▶▶ (飛び越し/早送り) ボタン
- ◀◀ (飛び越し/早戻し) ボタン
- EDIT (編集) ボタン

VOLUME (音量) ボタン (+, -)

### チューナー操作部

- BAND ボタン
- P. SCAN (プリセットスキャン選局) ボタン

電池ふた (背面下部)

# 各部のなまえ (つづき)

## リモコン (パネル内部)

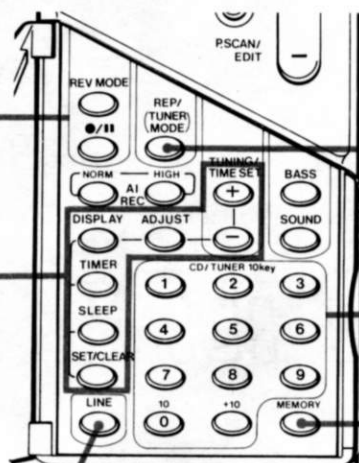
### テープ操作部

リバー ス モード  
REV MODE ボタン  
● / || (録音 / 録音一時停止) ボタン

### 時計 / タイマー操作部

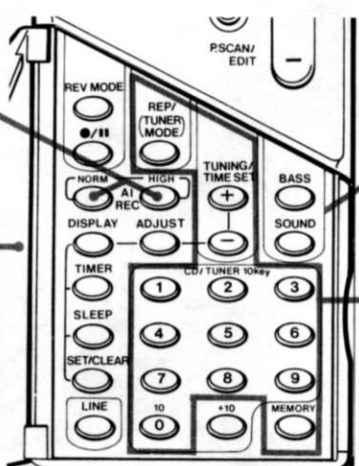
タイム セット (時刻合わせ) ボタン (+, -)  
ADJUST (時刻設定) ボタン  
ディスプレイ (表示切換) ボタン  
タイマー  
TIMER ボタン  
スリープ (おやすみ) ボタン  
SET / CLEAR (タイマー動作待機 / 解除) ボタン

ライン (ライン動作) ボタン



### CD操作部

リピート (繰り返し) ボタン  
REP (繰り返し) ボタン  
CD 10key (1~9, 0, +10)  
MEMORY (予約) ボタン



### 音響効果操作部

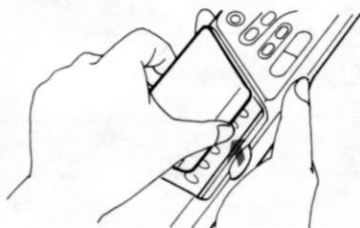
バス (重低音切換) ボタン  
BASS (重低音切換) ボタン  
サウンド (音質切換) ボタン  
SOUND (音質切換) ボタン

### チューナー操作部

チューニング (選局) ボタン (+, -)  
TUNING (選局) ボタン (+, -)  
チューナーキー (1~10)  
TUNER 10key (1~10)  
MEMORY (プリセット) ボタン  
TUNER MODE ボタン

エーアイ レック  
AI REC (人工知能録音) ボタン  
CD AI録音とテープAI録音の兼用ボタンです。  
HIGH: 倍速  
NORM: 定速

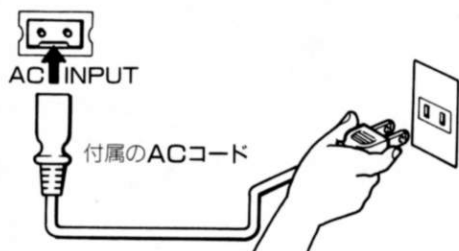
### パネルの開けかた



- 操作した後は、パネルを閉めておいてください。
- パネルはリモコン本体から取り外すこともできますが、紛失しないようにご注意ください。

## AC電源でご使用の場合

### 1 背面のAC INPUT端子へ



### 2 AC100Vコンセントへ

- ◆ACコードを常時コンセントに差し込んでおきますと(通電状態)、時計/メモリーバックアップ用乾電池(下記参照)の消耗を減らすことができます。
- ACコードを抜き差しするときは、POWERボタンで電源を切ってから行ってください。

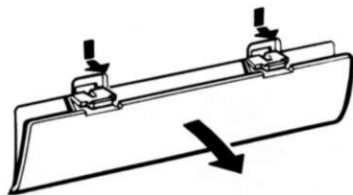
## 時計/メモリーバックアップ用乾電池の装着について

別売の単3形(SUM-3)乾電池を入れておきますと、停電時や単1形乾電池が消耗したときでも、時計の動作とセットされた各種メモリーを次のように保持します。

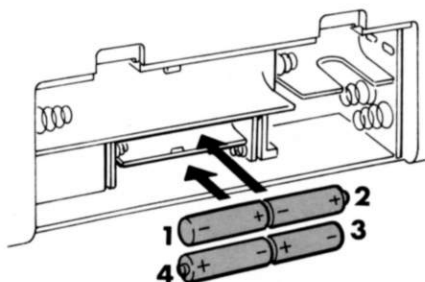
時計/タイマー関係	時計の動作、タイマーのセット内容、スリープのセット内容、タイマーの待機状態
チューナー関係	プリセットの内容、最後に受信していた局、ビートキャンセルの状態、ステレオ/モノラル、エリアバンド
CDプレーヤー関係	プログラムした内容、リピート
テープ関係	リバースモード、デッキA/デッキB、DOLBY NRのON/OFF、カウンター値
その他	ファンクション、音量レベル、音質(BASS(重低音)レベル・VIVID・MILD・VOCAL・NORM)

乾電池を入れるときは、ACコードを接続した状態で行ってください。

### 1 背面の電池ふたを開けます。



### 2 単3形(SUM-3)乾電池4本を入れます。



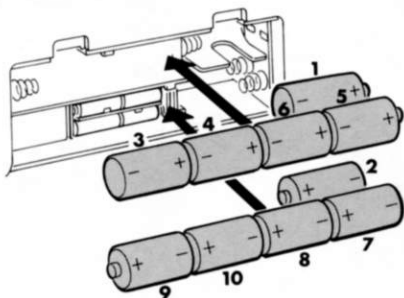
- 極性 $\oplus$ / $\ominus$ を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- 時計/メモリーバックアップ用乾電池が消耗してくると、停電時や単1形乾電池が消耗したとき、時計が狂ったり、表示が消えたりしますので早目に交換してください。



# 電源について (つづき)

## 単1形乾電池でご使用の場合

時計/メモリーバックアップ用乾電池を入れた後、別売の単1形 (SUM-1) 乾電池10本を入れ、電池ふたを閉めます。



- 極性 $\oplus$ / $\ominus$ を間違えないよう図に示す番号順に入れます。
- ACコードがAC INPUT端子に接続されていると、乾電池では動作しません。
- 本機を長期間使用しない場合や、長期間AC電源で使用する場合は、乾電池を取出しておいてください。
- 単1形乾電池だけでも、時計の動作と各種メモリー (ページ 8) を保持します。

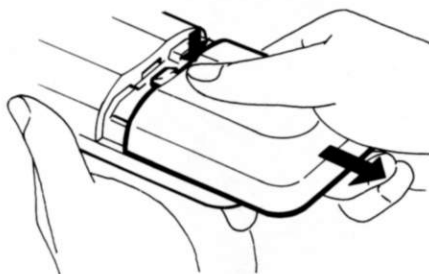
## ■ 乾電池について

乾電池でご使用中に、電源が切れることがあります。これは、乾電池が消耗しているためです。このような場合には、全部新しい同じ種類の乾電池と交換するか、AC電源でご使用ください。

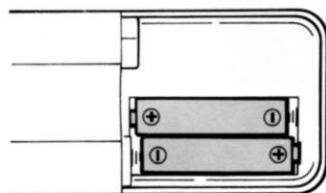
- ★ 乾電池はときどき休ませた方が長く使えます。
- ★ 大切な録音やCDの演奏をするときは、あらかじめ新しい乾電池に交換するかAC電源の使用をおすすめします。

## リモコン用乾電池の入れかた

- 1 電池ふたの▶マークの部分を押してふたを開けます。



- 2 付属の単4形 (UM-4) 乾電池2本を、極性 $\oplus$ / $\ominus$ を正しく入れて、ふたを閉めます。



- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンを本機の近くで操作しても動作しなくなりますので、2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、寿命が短いことがありますが、ご了承ください。
- 乾電池をはずすときは…  
2本とも、 $\ominus$ 側を押すと $\oplus$ 側が上がって簡単に取りはずすことができます。



# リモコン操作について

## リモコンでできる操作

リモコンで操作できるのは次の場合です。

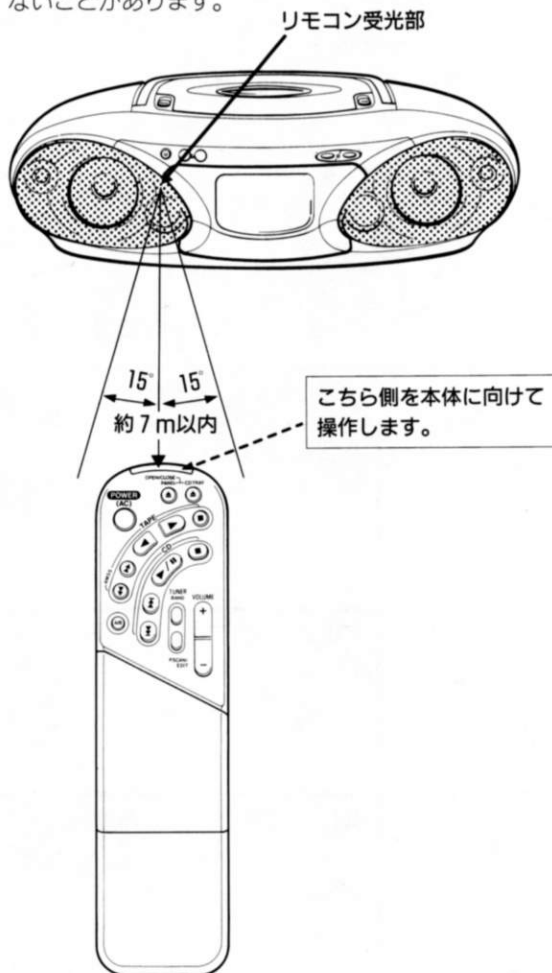
- ACコードが本体とACコンセントに接続されているとき。
- 電源に単1形乾電池を使用し、本体のPOWERボタンで電源を入れたとき。

動作は本体で操作した場合と同じです。

- 電源  
AC電源でご使用のときの入・切  
乾電池でご使用のときの切
- パネルの開閉
- 音量・音質  
音量調節、音質切換(SOUND)、重低音レベル設定(BASS)
- CD  
CDへの切換、CDトレイの開閉、通常演奏、プログラム演奏、予約の追加・変更、ダイレクト選曲、リピート、スキップ、サーチ、一時停止、停止
- テープ  
テープへの切換、デッキA・Bの切換、リバースモードの設定、再生、早巻き、AMSS、録音、録音ポーズ、停止、テープカウンターのリセット
- チューナー  
チューナーへの切換、バンドの切換、アップ/ダウン選局、プリセット、ダイレクト選局、プリセットスキャン選局、ステレオ/モノラルの切換、ビートキャンセルの状態、エリアバンドの切換
- CD AI録音  
編集録音の選択、テープ長の指定、プログラム曲の予約、定速/倍速録音のスタート
- テープAI録音  
定速/倍速録音のスタート
- 時計/タイマー  
表示の切換、現在時刻合わせ、ON-OFFタイマーの設定、スリープタイマーの設定、タイマーの内容確認、タイマーモードの選択、タイマーの動作待機と解除

## リモコンの使える範囲

水平(垂直)方向で左右(上下)15°ずつ、直線距離で約7mまでの範囲内です。それ以外の範囲では、リモコンで操作できないことがあります。



- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、リモコンでは操作できません。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは正常に動作しないことがあります。

# 時計の合わせかた

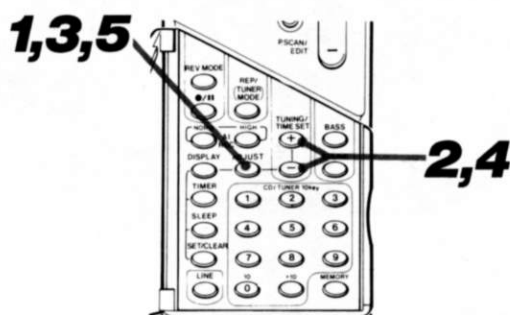
タイマーをセットする前に、必ず時計を現在時刻に合わせてください。

時計の時刻合わせはACコードを接続した状態で行います。誤操作を避けるため、電源を切った状態(表示部が時刻表示のみ)で行うことをおすすめします。

本機の時計は24時間表示です。

- 初めて時刻合わせをするときは、「0:00」表示が出て、時計が動きだします。(右端のピリオドが点滅する。)
- お好みにより、12時間表示(AM(午前)/PM(午後)表示)に切り換えてご使用いただけます。  
切り換えかたについては66ページをごらんください。

リモコンで操作してください。



(例)午後6時30分(18:30)に合わせるとき

操作とはたらき		表示
<b>1</b> ADJUST 	ADJUSTボタンを押す。 「時」表示が点滅します。	 点滅
<b>2</b> TUNING/TIME SET 	TIME SETボタン(⊕または⊖)を押して「時」を合わせる。 ●ボタンを押し続けると、「時」表示は連続的に進みます。	 点滅
<b>3</b> ADJUST 	ADJUSTボタンを押す。 「18」の点滅が止まり、「分」表示が点滅します。	 点滅
<b>4</b> TUNING/TIME SET 	TIME SETボタン(⊕または⊖)を押して「分」を合わせる。 ●ボタンを押し続けると、「分」表示は連続的に進みます。 ●分表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰り上がりません。	 点滅
<b>5</b> ADJUST 	ADJUSTボタンを押す。 「30」の点滅が止まり、秒インジケーターが点滅しだすとともに時計は0秒からスタートします。 ◆秒単位で正しく時刻合わせするには… 電話の時報サービス(117番)を利用すると便利です。 あらかじめ上記1~4の操作をしておき、時報と同時にADJUSTボタンを押してください。	 点滅

●上記1~4の操作中、SET/CLEARボタンを押すと、時刻合わせを中止することができます。

# パネルの開閉のしかた

本体の操作部はパネルの内部に収納されています。

「ディスクの出し入れ」、「DOLBY NRの切り換え」の操作をするときは次のようにしてパネルを開いてください。それ以外の操作は、パネルが閉じた状態でもリモコンで操作できます。

PANEL/CD TRAYインジケータ

パネルやCDトレイが開閉中に点滅

POWERボタン

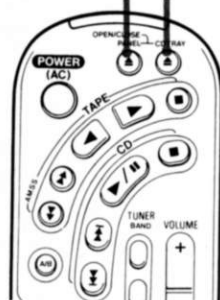
PANEL ▲ CD TRAY ▲

CD TRAY-OPEN/CLOSEボタン

PANEL-OPEN/CLOSEボタン

パネルやCDトレイが開閉中は、パネル内の全てのインジケータが点滅します。

パネル



## AC電源でご使用の場合には…

本体のPANELボタンかリモコンのPANEL-OPEN/CLOSEボタンを押す。

パネルが開きます。

◆電源が切れている場合には、自動的に電源が入り(POWERボタンが点灯)、パネルが開きます。

もう一度ボタンを押すと、パネルが閉まります。

CD演奏をする場合は、本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押すと、パネルが開いた後、CDトレイが出てきます。

◆電源が切れている場合には、上記と同様に自動的に電源が入ります。

## 乾電池でご使用の場合には…

**1** 本体のPOWERボタンを押す。  
POWERボタンとパネル内の全てのインジケータが点灯します。

**2** 本体のPANELボタンかリモコンのPANEL-OPEN/CLOSEボタンを押す。  
パネルが開きます。

もう一度**2**の操作をするとパネルが閉まります。

CD演奏をする場合、上記**1**の操作をした後、本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押すと、パネルが開いた後、CDトレイが出てきます。



ちょっとこれを!

### オートクローズ機能

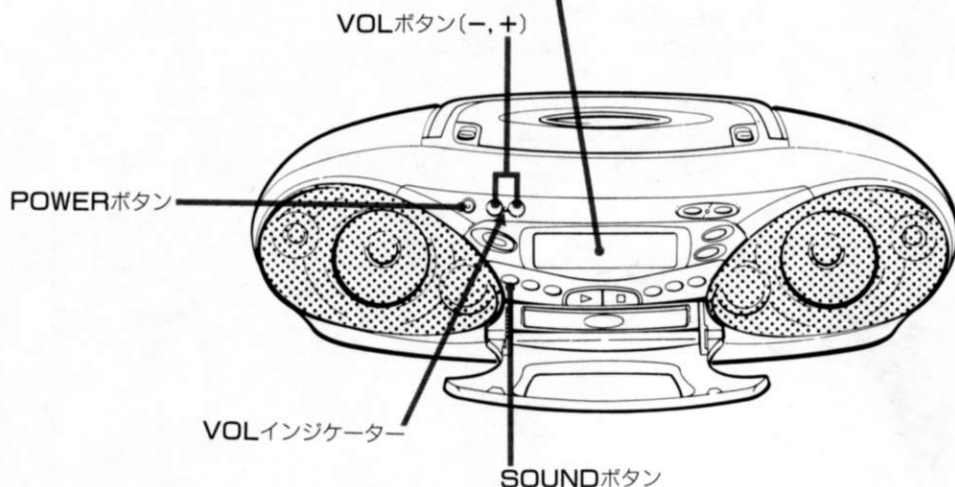
パネルが開いているときPOWERボタンで電源を切ると、パネルが自動的に閉まり電源が切れます。CDトレイが出ている場合は、CDトレイが引っ込んだ後、パネルが閉まります。

### ご注意

- パネルが開閉中、パネルを押ししたり引っ張ったりしないでください。CDトレイが正常に開閉しなくなったり故障の原因になります。
- 本機の前に物を置かないでください。パネルが当るおそれがあります。パネルが開ききっていないと、CDトレイが正常に開閉しません。
- 本機をふわふわしたじゅうたんなどの上に置くと、パネルが完全に開ききらないことがあります。
- パネルが閉じるとき、指がはさまれないようにご注意ください。特に小さなお子さまが操作するときには十分ご注意ください。

# 共通な操作のしかた

表示部 AC電源を使用して電源を入れたときは、バックライトで照明されます。

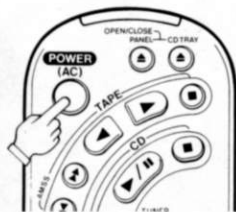


## 電源を入/切するには



本体のPOWERボタンを押します。  
POWERボタンが点灯します。  
ファンクションモードは電源を切る前のモードになります。  
もう一度押すと電源が切れます。  
電源は切れても各種メモリーは保持されます。(P.8ページ)

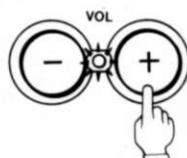
ACコードを接続していれば、リモコンのPOWERボタンで電源を切→入できます。  
電源が入れば、リモコンで各種の操作ができます。



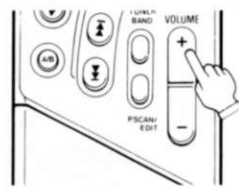
**ご注意** 単1形乾電池でご使用の場合、リモコンで電源を切→入することはできませんので、本体側のPOWERボタンで操作してください。

## 音量を調節するには

本体のVOLボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンで調節します。  
「+」側を押すと音が大きくなり、「-」側を押すと小さくなります。



または



音量は連続的に変化し、そのレベルは表示部にバー表示とdb値で表示されます。(P.63ページ)  
音量が変化しているとき、VOLインジケーターが点滅します。

- ◆電源を切ったときは、切る前の音量が保持されます。  
ただし、音量を最大付近まで上げていた場合は、ボリューム最大の80%程度のレベルまで自動的にしぼられます。
- レベルを変えても、録音には影響しません。

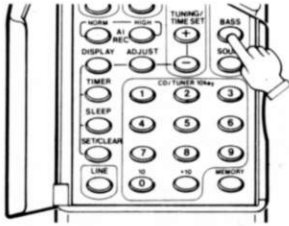
### 音量調節時のご注意

コンパクトディスクはノイズが少なく、通常のレコード、カセットテープのようにノイズを聞きながら音量を調節しますと、思わぬ大音量になることがありますのでご注意ください。  
特にヘッドホンでお聞きの場合、耳をいためることがありますのでご注意ください。

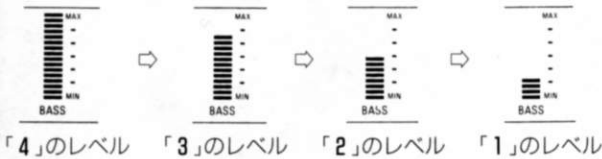


## 重低音を楽しむには

リモコンのBASSボタンで4段階のレベルを選ぶことができます。



ボタンを押すたびに表示部のBASSインジケータが次のように変わります。

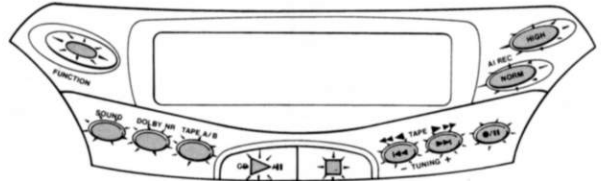


- ◆電源を切ったときは、切る前のレベルが保持されます。
- レベルを変えても、録音には影響しません。

## パネル内部のインジケータについて

パネル内部の操作ボタンは全てインジケータ付きで、本機の動作状態に応じて点灯・点滅しますので、色々な操作の確認や次の操作に移るときなどに便利です。

- SOUND、DOLBYNR、TAPEA/B、■ボタンのインジケータは単独では点灯しません。
- 電源が入った状態で、パネルやCDトレイが開閉中は全部点滅します。

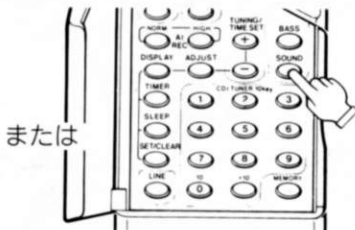


次の場合には全部約1分間点灯します。

- ファンクションやチューナーのバンドを変えたとき
- 電源を入れたとき
- パネルやCDトレイの開閉動作が終わったとき
- CDやテープが停止状態になったとき
- テープを入れたとき

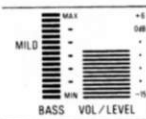
## お好みの音質で聞くには

本体またはリモコンのSOUNDボタンを使って、お聞きになる音楽の周波数特性にマッチした音質を選ぶことができます。



ボタンを押すたびに、表示部に「VIVID」→「MILD」→「VOCAL」→「NORM」…の順で表示されますのでご希望の表示を出してください。

(例)「MILD」のとき

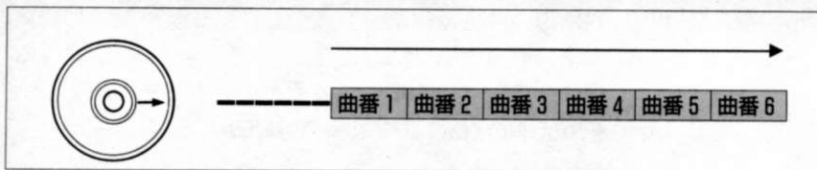


- ★低音域と高音域を強調したいとき →VIVID
- ★低音域を強調したいとき →MILD
- ★高音域をおさえて中低音域を強調したいとき →VOCAL
- ★低音域から高音域までフラットな特性で聞きたいとき →NORM

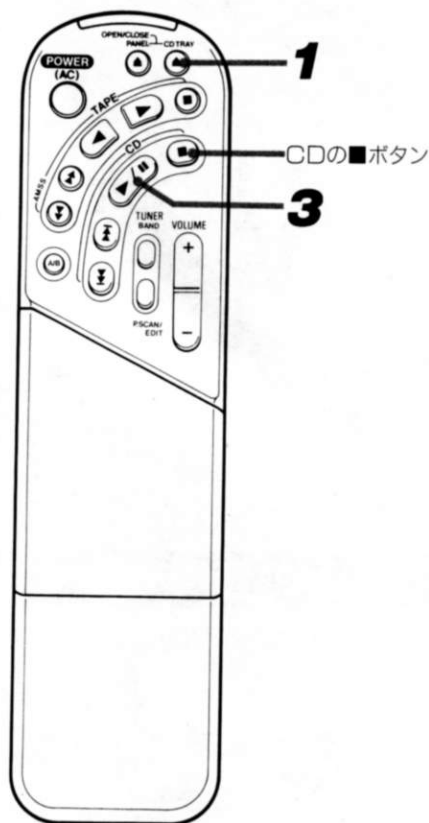
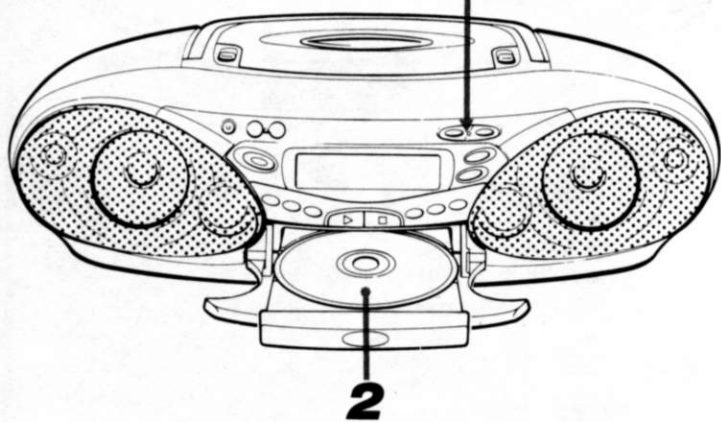
- 電源を切ったときは、切る前の音質が保持されます。
- 音質を変えても、録音には影響しません。

# CD演奏のしかた

曲番1から順に聞くには（通常演奏） 番号順に操作してください

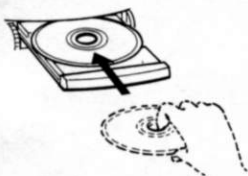


PANEL/CD TRAYインジケータ



## ディスクの入れかた

12センチCD



8センチCD



中央の円形の切り込み部にのせる

ディスク面に触れないように持ち、レーベル面を上側にして入れます。

●一度に2枚以上のディスクを入れることはできません

### ちょっとこれを!

- ディスクがCDトレイ上の正しい位置にのっていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になります。
- ディスクの裏表を逆に入れると、「NO DISC」を表示して演奏できません。
- ディスクにキズ、指紋、ほこりがついているときも演奏できないことがあります。
- CDトレイが動いているとき、CDトレイを押ししたり引っ張ったりしないでください。故障の原因になります。
- 市販のCDスタビライザーは使用できません。

- 演奏中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。
- こんなときに音とびを起きますのでご注意ください。
  - ・本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ・薄い板など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ・ディスクの内容によって音とびを起すことがあります。このときは音量を下げてお聞きください。

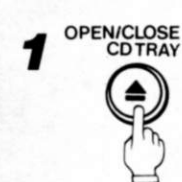
COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

のマークが入ったディスクをご使用ください。

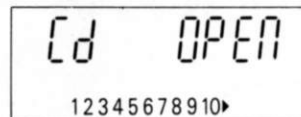
## 操作とはたらき

## 表示

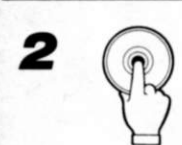
◆どのファンクションモードからでも次の手順で演奏を開始できます。(録音中はできません。)



CD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押す。  
PANEL/CD TRAYインジケータが点滅して、パネルが開いた後、CDトレイが手前に出てきます。



ファンクションがCDのとき



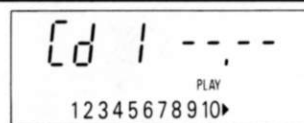
CDトレイにディスクをのせる。



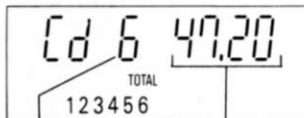
▶/|| ボタンを押す。  
PANEL/CD TRAYインジケータが点滅して、CDトレイが引っ込み、ディスクの内容が読みとられます。

PANEL/CD TRAYインジケータが点灯状態になると1曲目の演奏が始まります。

ディスクの最後の曲が終わると**停止状態**になります。



6曲入りのディスクです。

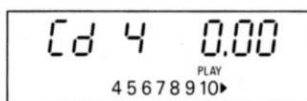


ディスクの全曲数 全演奏時間

## ミュージックカレンダーについて

ディスクに入っている全部の曲番(10曲まで)をカレンダーのように表示します。

- ディスクを入れCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押したときは全曲番を示します。
- ディスクの最後の曲が終わったときや■ボタンを押したときも全曲番を示します。
- 11曲以上入っているディスクの場合は、「10」の右側の▶インジケータが点灯します。
- 演奏中は、演奏が終わった曲番から自動的に消えて行きます。



(例) 11曲以上入ったディスクで4曲目の演奏を開始したところ

### ●演奏を途中で止めるには

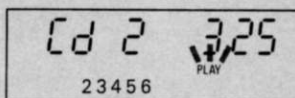
CDの■ボタンを押します。  
表示は上記**3**の停止状態と同様になります。

### ●演奏途中でディスクを取出したいときは

CD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押します。

### ●演奏を一時的に止めるには

▶/|| ボタンを押します。

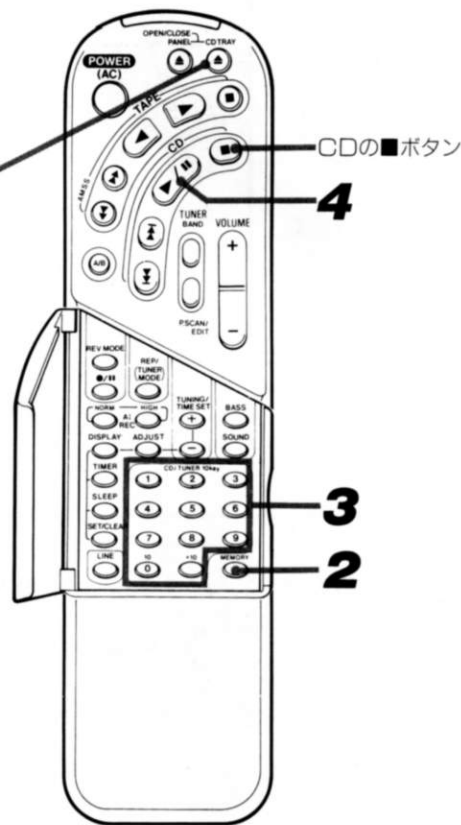
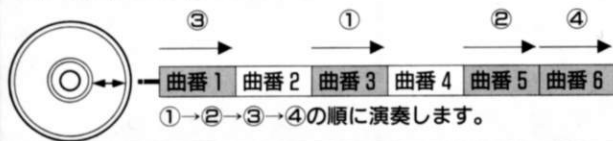


表示部の「PLAY」と本体のCD▶/||ボタンが点滅します。  
もう一度押すと再び演奏が始まります。

# CD演奏のしかた(つづき)

お好みの曲を選んで聞くには(プログラム演奏)番号順に操作してください

お好みの曲をお好みの順番で演奏することができます。  
最大20曲まで予約できます。



ちょっとこれを /

- 演奏中やディスクを入れていない状態ではプログラムできません。
- 21曲目をプログラムしようとする、「Err」(エラー)表示をした後20曲目の表示に戻ります。
- 表示部に示される「Pr.1」「Pr.2」…はプログラム・ナンバー(演奏順)の意味です。

●演奏を途中で止めるには

- ボタンを押します。  
この場合は次ページ手順4の停止状態と同様になります。

●演奏を一時的に止めるには

- ▶/||のボタンを押します。もう一度押すと再び演奏が始まります。

操作とはたらき		表示
<p><b>1</b></p> <p>OPEN/CLOSE CD TRAY</p>	<p>16ページの<b>1</b>、<b>2</b>の操作をしてCDトレイにディスクをのせ、CD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押す。</p> <p>CDトレイが引込みます。</p> <p>●演奏している場合は、CDの■ボタンを押して停止状態にしてください。</p>	<p>6曲入りで47分20秒のディスクの場合</p>
<p><b>2</b></p> <p>MEMORY</p>	<p>MEMORYボタンを押す。</p>	<p>「PGM」が点滅</p>
<p><b>3</b></p> <p>CD/TUNER 10key</p>	<p>演奏したい曲番のCD10keyを押す。</p> <p>●曲番3、曲番5、曲番1、曲番6の順で予約するとき「3」のボタンを押す。</p> <p>↓</p> <p>「5」のボタンを押す。</p> <p>↓</p> <p>「1」のボタンを押す。</p> <p>↓</p> <p>「6」のボタンを押す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>曲番10以降を予約するときは、次の順番でCD10keyを押してください。たとえば</p> <p>曲番10…「+10」→「0」</p> <p>曲番16…「+10」→「6」</p> <p>曲番20…「+10」→「+10」→「0」</p> </div>	<p>「PGM」が点灯 ↓</p> <p>↓</p> <p>↓</p>
<p><b>4</b></p>	<p>▶/   ボタンを押す。</p> <p>予約した順番で演奏が始まります。</p> <p>ミュージックカレンダーは、演奏が終わった曲番から自動的に消えて行きます。(同じ曲番を重複して予約したときは、その回数分を演奏し終わると消えます。)</p> <p>最後に予約した曲が終わると停止状態になります。</p> <p>CD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押したり、停止状態で■ボタンを押さない限りプログラム演奏モードは取消されず、予約されたプログラムは残ります。</p>	<p>「PLAY」が点灯</p>

●予約内容を確認するには

停止時に、MEMORYボタンを押すと、押すたびに予約した曲番と演奏順が表示部で確認できます。予約曲の追加・変更については次ページをごらんください。



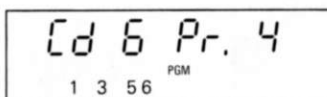
# CD演奏のしかた(つづき)

## 予約曲の追加・変更をするには

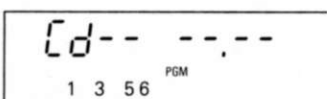
●CDを停止状態にしておきます。

(例)予約の最後(5番目)に曲番4を追加する

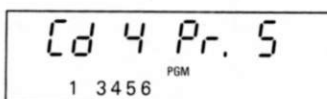
1 MEMORYボタンを繰り返して押し、予約の最後をさがす。



2 もう一度MEMORYボタンを押し、「---.---」を表示させる。

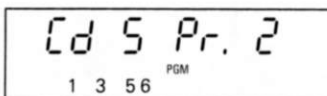


3 「4」のボタンを押す。

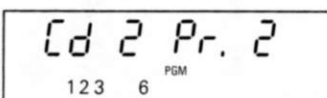


(例)2番目の曲番5を曲番2に変更する

1 MEMORYボタンを繰り返して押し、2番目の曲を表示させる。



2 「2」のボタンを押す。



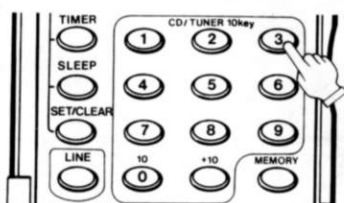
## 聞きたい曲から聞くには(ダイレクト選曲)

ファンクションが「CD」のとき、リモコンのCD10keyを押すと、お聞きになりたい曲からすぐに演奏をスタートすることができます。

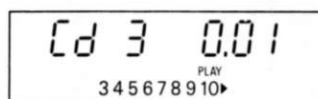
CDトレイが開いた状態からでも自動的に演奏を開始します。

演奏中の場合は、すぐにご希望の曲に切り換えることができます。

(例)ディスクの3曲目から聞くととき



「3」のボタンを押す。



(例)ディスクの10曲目から聞くととき

「+10」を押して、「0」を押す。

(例)ディスクの15曲目から聞くととき

「+10」を押して、「5」を押す。

(例)ディスクの21曲目から聞くととき

「+10」を2回押して、「1」を押す。

◆ファンクションが「CD」で停止状態のとき、◀◀または▶▶ボタンで曲番を指定し、▶/||ボタンを押してスタートすることもできます。

◀◀または▶▶ボタンで曲を指定したときは、表示部にその曲の演奏時間が表示されます。

●プログラム演奏モードでは、ダイレクト選曲はできません。

## 繰り返し(リピート)演奏のしかた

ディスクの中の全曲または予約した曲だけを繰り返し演奏することができます。

通常演奏でもプログラム演奏でも操作方法は同じです。



演奏前または演奏中  
REPボタンを押す。

「REP」が点灯

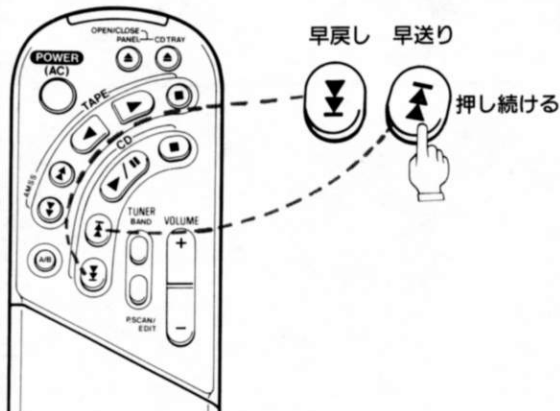
- ◆通常演奏の場合は、ディスクの最後まで演奏すると、最初の曲に戻り、繰り返し演奏します。
- ◆プログラム演奏の場合は、最後の予約曲の演奏が終わると、最初の予約曲に戻り、繰り返し演奏します。
- リピートを解除するには、REPボタンをもう1度押します。(「REP」表示が消えます。)
- CD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押したり、停止状態で■ボタンを押さない限りリピートは解除されません。

## 早戻し/早送りのしかた(サーチ)

演奏中、◀◀または▶▶ボタンを押し続けると、演奏音を聞きながら早戻しまたは早送りができます。聞きたいところにきたら指を離してください。

一時停止状態でサーチすると、ボタンから指を離すと一時停止状態になります。

- プログラム演奏中のサーチは、現在演奏中の曲の中だけでできます。

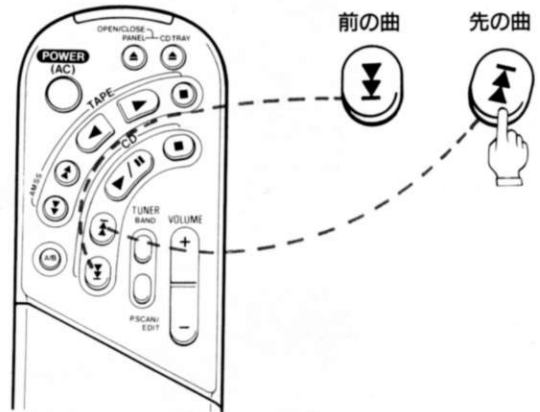


## 曲の頭出し(スキップ)のしかた

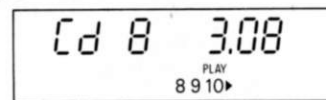
演奏中や一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを使って曲の頭出しが簡単にできます。ボタンは軽くポンポンと押してください。

一時停止状態でスキップすると、頭出し後、一時停止状態になります。

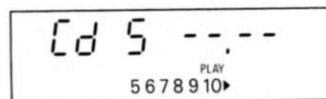
プログラム演奏中は、予約順にスキップします。



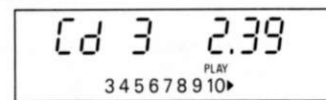
(例) 8曲目を演奏中、後退飛び越して5曲目を頭出し



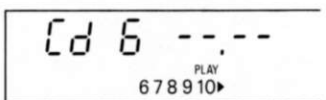
◀◀ボタンを押して曲番「5」を表示させる。



(例) 3曲目を演奏中、前進飛び越して6曲目を頭出し

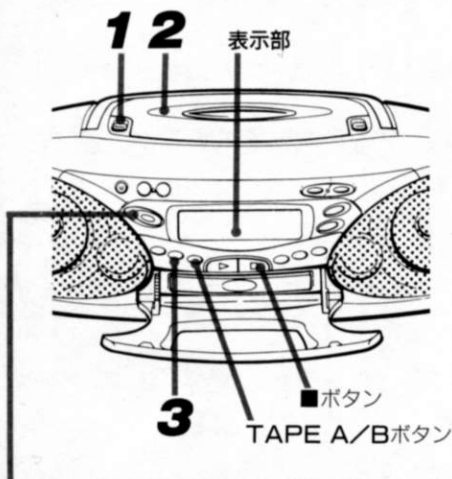


▶▶ボタンを押して曲番「6」を表示させる。



# テープを聞くには

デッキA、デッキBのどちらのデッキでも単独再生できますが、ここでは、デッキAで説明します。



## FUNCTIONボタン

本体側で操作する場合は、このボタンを押して、ファンクションを「TAPE」にしてから操作してください。

## デッキA/Bの切り換えについて

本機のデッキ操作ボタンは、デッキA、Bを兼用しています。テープを入れると表示部に「deck A」または「deck B」が表示されます。

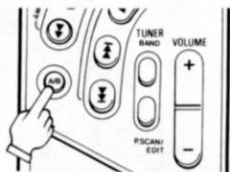
「deck A」または「deck B」の表示されている側のデッキが動きます。

両方にテープが入っているときは、本体のTAPE A/BボタンまたはリモコンのA/Bボタンを押すたびに切り換わります。

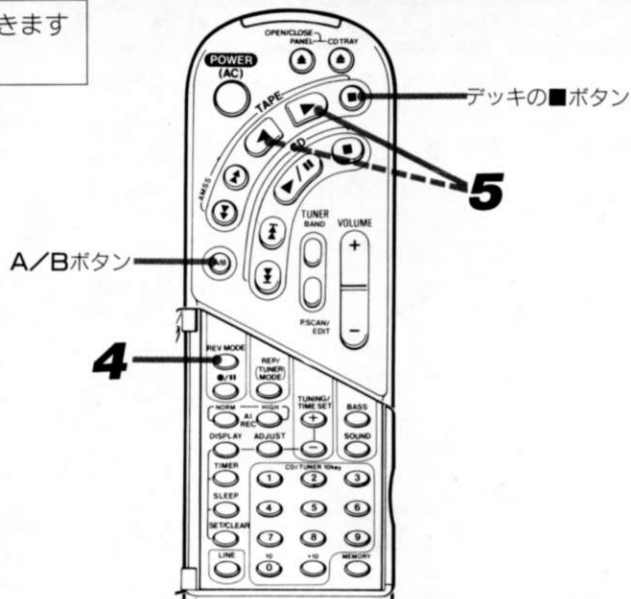
TAPE A/B



または



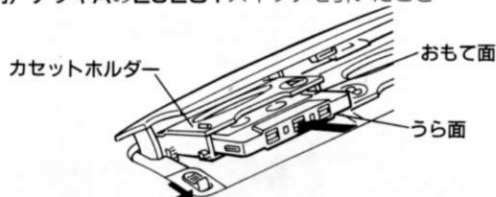
- テープを両方のデッキに入れたときは、後から入れたほうのデッキが表示されます。



## カセットテープの入れかた

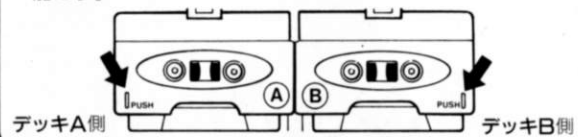
お使いになる方のデッキのEJECTスイッチを手前に引きます。

(例) デッキAのEJECTスイッチを引いたとき



カセットテープを入れたら、カセットふた中央の「PUSH CLOSE」表示部を押して閉めてください。

◆カセットふたを開けたままでも、カセットホルダー上の「PUSH」表示部を押してロックすると、テープ操作が可能です。



## お使いになるカセットテープについて

デッキA、デッキBともに、ノーマルテープ(TYPE I)、クロームテープ(TYPE II)、メタルテープ(TYPE IV)が同じように使えます。テープの種類を自動的に識別するオートテープセレクトがついていますので、テープの種類によって切り換える必要はありません。

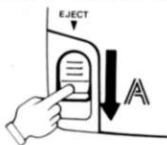
- エンドレステープは使用できません。
- ツメを折ったカセットテープでは録音できません。
- 片側のツメが折れたテープで録音すると、オートリバースせずにテープは停止します。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込んだりすることがありますので使用しないでください。

## 操作とはたらき

## 表示

◆どのファンクションモードからでも次の手順で再生を開始できます。(録音中はできません。)

1



デッキAのEJECTスイッチを手前に引く。  
カセットふたとデッキAのカセットホルダーが開きます。

TAPE ---

2



デッキAのカセットホルダーにカセットテープを入れ、カセットふたを閉めます。

TAPE 000 deck A

3



テープに合わせてDOLBY NRボタンを切り換える。  
ドルビーNR録音テープのとき

ボタンを押して「DOLBY NR」を点灯させる。

ドルビーNR録音されていないテープのとき

ボタンを押して「DOLBY NR」を消す。

●ボタンを押すたびに切り換わります。

TAPE 000 deck A

DOLBY NR

ドルビーNR録音テープのとき

4



REV MODEボタンを押して、表示部にご希望のリバースモードを表示させる。

●ボタンを押すたびに次の順番で変わります。



TAPE 000 deck A

DOLBY NR

片道再生のとき

くわしくは 65ページ

5



▶または◀ボタンを押す。

▶ボタンを押すと▶のマークが点灯し、おもて面の再生が始まります。ミュージックカレンダー表示は左から右へ繰り返し移動します。

◀ボタンを押すと◀のマークが点灯し、うら面の再生が始まります。ミュージックカレンダー表示は右から左へ繰り返し移動します。

◆再生中、▶または◀マークと反対向きのボタンを押すと、好きなところでテープの再生面を切り換えられます。

TAPE 001 deck A

12

DOLBY NR

おもて面の再生を開始したとき

### ●テープにたるみがあるときは

巻込んだりして故障の原因になりますので、鉛筆などでたるみをとってから入れてください。



- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。
- リーダーテープ部を巻取るときは、矢印方向に回してください。逆に回すと巻込みの原因になります。

### ●聞き終わるときは

■ボタンを押します。

▶のマークが消えます。他のファンクションモードに切り換えた場合でも、「deck A」「Z」「DOLBY NR」(上記の例)表示は残ります。

テープを取出すときは、デッキAのEJECTスイッチを手前に引きます。

- テープカウンターの使いかた 23ページ

# テープを聞くには(つづき)

## テープカウンターの使いかた

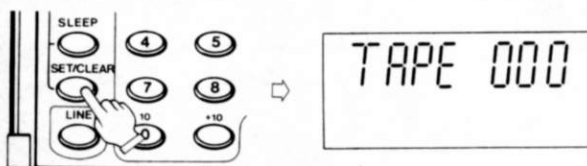
再生や録音、早巻きをすると、テープの動きに合わせて表示部にカウンターの数字が表示されます。



テープを再生するときや録音するとき、曲の始めや終わりなどすぐを探したいところの数字をメモしておけば、その数字が目安になって簡単にみつけ出すことができます。細かい編集録音をするときなどに便利です。

- テープカウンターは「TAPE」のファンクションを選んだときに表示されます。他のファンクションのときはリモコンのDISPLAYボタンを使って表示させることができます。(▶67ページ)
- カウンターはデッキごとについていますが、表示部にはテープが入っているデッキ(両方に入っている場合にはインジケーターが点灯している方のデッキ)のカウンターのみが表示されます。
- テープのダビング中は、デッキBのカウンター表示になります。
- カウンターは、テープが右側へ走行中は数字が増加し、左側へ走行中は減少していきます。

カウンターを「000」に戻すには(カウンターリセット)リモコンのSET/CLEARボタンを押すと、表示されているカウンターが「000」になります。



- カウンターの数値はリセットしない限り、電源を切っても切る前の数値が保持されます。
- デッキBのカウンターの数値は、CD AI RECまたはテープAI録音をスタートすると自動的に「000」に戻ってスタートします。

## 曲の頭出し(AMSS)のしかた

再生中、◀◀AMSSまたはAMSS▶▶ボタンを押すと、今聞いているところから前後の曲間に飛び越して、曲の始めから再生できます。本体側で操作する場合は、◀◀または▶▶ボタンを約1秒以上押します。

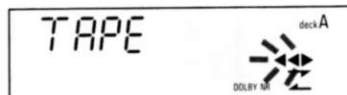
(AMSS: Automatic Music Select System)

おもて面を再生中



### 今、聞いている曲を頭出しするには

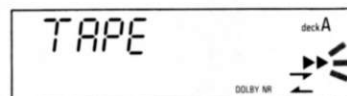
おもて面を再生中(▶が点灯)、◀◀AMSSボタンを押す。◀◀が点滅します。



今聞いている曲の頭に戻って再生が始まります。

### 次の曲を頭出しするには

おもて面を再生中(▶が点灯)、AMSS▶▶ボタンを押す。右側の▶が点滅します。



次の曲の頭から再生が始まります。

- うら面を再生中(◀が点灯)は、逆のはたらきになります。

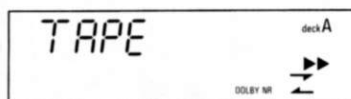


## テープを早巻きするには

停止中に、◀◀AMSSまたはAMSS▶▶ ボタンを押します。本体側で操作する場合は、ファンクションを「TAPE」にして◀◀または▶▶ ボタンを約1秒以上押します。お望みのところまで巻取ったら、■ボタンを押します。

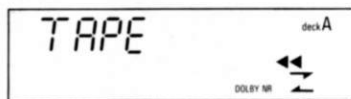


AMSS▶▶ ボタンを押すと



▶▶ が点灯して右側へ早巻きされます。

◀◀AMSSボタンを押すと



◀◀ が点灯して左側へ早巻きされます。



### ちょっとこれを！

片方のデッキで再生中、A/Bボタンで使用デッキを切り換えると、もう一方のデッキで早巻き操作ができます。(操作の後は、再度A/Bボタンを押して動作ができるデッキを元へ戻しておきます。)

- 再生中に、もう一方のデッキで早巻き操作をすると、再生中のデッキが回転ムラを起こすことがあります。

## フルオートストップについて

再生、録音、早巻き中に、テープが終端までくると自動的にテープが停止します。

ただし、再生時にリバースモードが「(Z)」になっているときはオートストップは働きません。

## リレー再生のしかた

デッキAとデッキBの両方にカセットテープを入れておけば、デッキA(またはデッキB)からデッキB(またはデッキA)へとリレー再生します。

REV MODEボタンを押して往復再生「(Z)」モードにします。

先に再生するデッキをA/Bボタンで指定した後、▶ボタンを押して下さい。



または



オートストップ  
オートストップ

# ラジオ・テレビ音声を聞くには

本機では3つの方法で選局ができます。

**エリアバンド選局**……札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡地区でご使用になる場合、地域名（エリア）とプリセット番号を選ぶだけで受信します。

**アップ/ダウン選局**……受信したい放送局の周波数やチャンネルに手動で合わすときに使います。（**29**ページ）

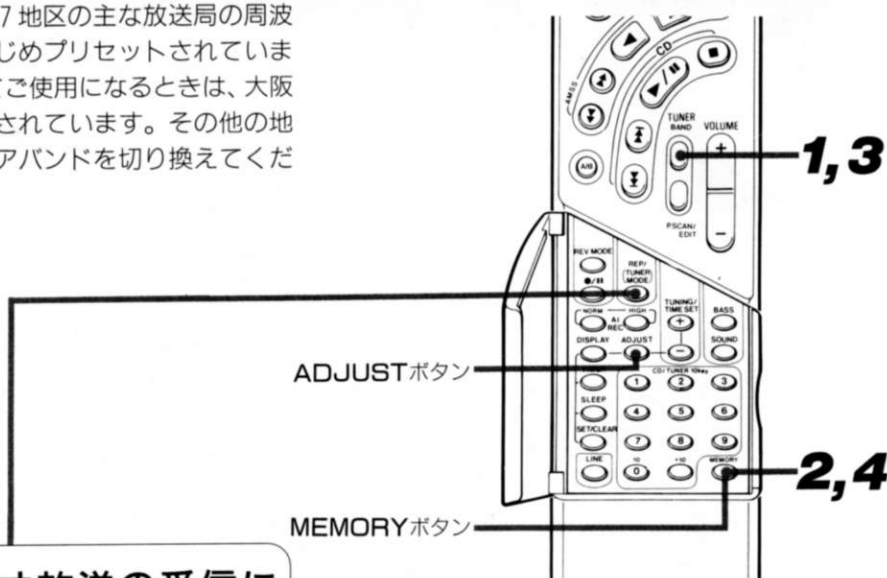
**プログラム選局**……ご自分でプリセットした放送局を受信するときに使います。（**31**ページ）

FM、AMでそれぞれ10局まで、TVで3局までプリセットできます。

## エリアバンド選局のしかた

番号順に操作してください

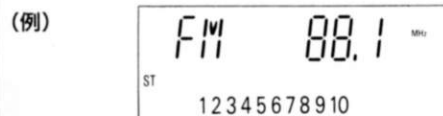
本機は工場出荷時に、上記7地区の主な放送局の周波数（チャンネル）があらかじめプリセットされています。またお買上げ後、初めてご使用になるときは、大阪地区のエリアバンドに設定されています。その他の地区でご使用の場合にはエリアバンドを切り換えてください。



## FM・AMステレオ放送の受信について

リモコンのTUNER MODEボタンを押すたびに、ステレオモードとモノラルモードが交互に変わります。ステレオモード時は、ステレオ放送を受信すると、自動的に表示部に「ST」を表示してステレオ放送になります。

◆モードはFM・AMバンドそれぞれ独立して設定できます。



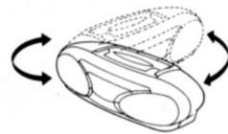
受信状態が悪いと「ST」が表示されないことがあります。この場合、モノラルモード（「MONO」表示）にすると、ステレオにはなりません聞きやすくなります。

●設定されたモードは、バンド、ファンクションの切り換え、受信周波数の変更、電源の切→入によっても変わりません。

よりよい受信をするためにはアンテナの調節が大切です。  
FM放送やテレビ音声のとき    AM放送のとき



ロッドアンテナを伸ばし、もっとも良く聞こえるようにします。


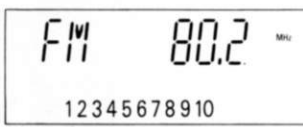

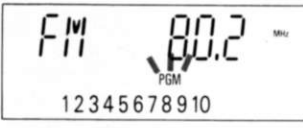

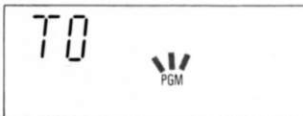

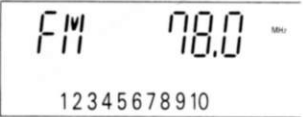


内蔵のアンテナがはたらきますので向きを変えて、もっとも良く聞こえるようにします。

## 受信中、ビート音ができるときは

ラジオ・テレビ音声を受信中、ビート音（「ピー」という音）が入ることがあります。そのときは、リモコンのMEMORYボタンを押し、「PGM」が点滅中にADJUSTボタンを押してください。

## エリアバンドを切り換えるには

操作とはたらき		表示
<p>◆どのファンクションからでも次の手順で操作できます。</p> <p><b>1</b></p> <p>BAND</p> 	<p>BANDボタンを押してチューナーファンクションにする。</p> <p>どのバンドでもかまいません。</p>	<p>(例)大阪地区のFM放送のプリセット番号1の局の内容を表示</p> 
<p><b>2</b></p> <p>MEMORY</p> 	<p>MEMORYボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「PGM」が点滅中にもう一度押すと取り消されます。</li> </ul>	 <p>「PGM」が点滅</p>
<p><b>3</b></p> <p>BAND</p> 	<p>「PGM」が点滅している間に、BANDボタンを繰り返し押し続けてご希望のエリアを表示させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ボタンを押すたびに次の順序でエリアが切り換わります。 OS(大阪)→HI(広島)→FU(福岡)→SA(札幌)→SE(仙台)→TO(東京)→nA(名古屋)→OS…</li> </ul>	<p>(例)東京</p> 
<p><b>4</b></p> <p>MEMORY</p> 	<p>「PGM」が点滅している間に、MEMORYボタンを押す。</p> <p>FMバンドのプリセット番号1の局を受信します。</p> <p>このとき、FM、AM、TVバンドのプリセット局は全て、そのエリアの初期状態(工場出荷時のプリセット内容)になります。</p>	<p>(例)東京地区のFM放送のプリセット番号1の局の内容を表示</p> 

### 選局のしかた 27ページ

28ページのエリアバンドプリセット一覧表をごらんになり選局してください。



#### ちょっとこれを!

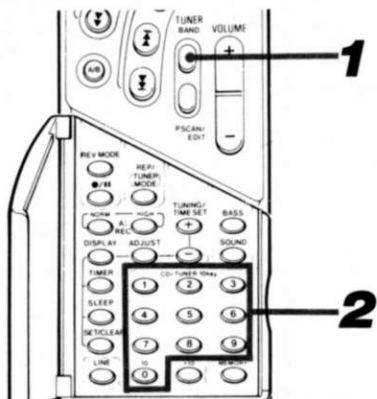
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- AM放送を受信しているとき、混信する場合は、モノラルに切り換えてお聞きください。
- AM放送を受信しているとき、受信モード(ステレオ/モノラル)を切り換えますと多少音質が変化します。

- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- テレビ音声の場合は、ステレオ・音声多重放送にはなりません。

# ラジオ・テレビ音声を聞くには (つづき)

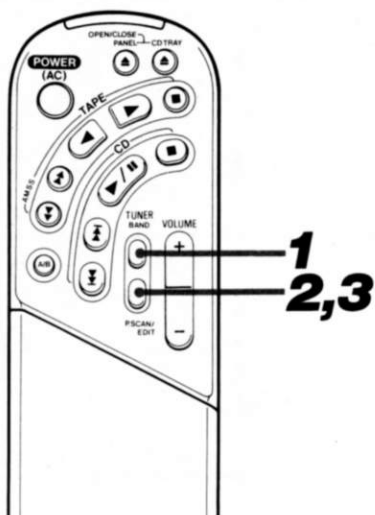
## プリセット局を選局するには

### ダイレクト選局のしかた



- 1** BANDボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。
- 2** TUNER 10keyでご希望の放送局を選ぶ。  
FM, AM放送は1~10のいずれか1つを押す。  
TV放送は1~3のいずれか1つを押す。  
(例)プリセット番号「3」の局を聞くととき  
③のボタンを押す。

### プリセットスキャン選局のしかた

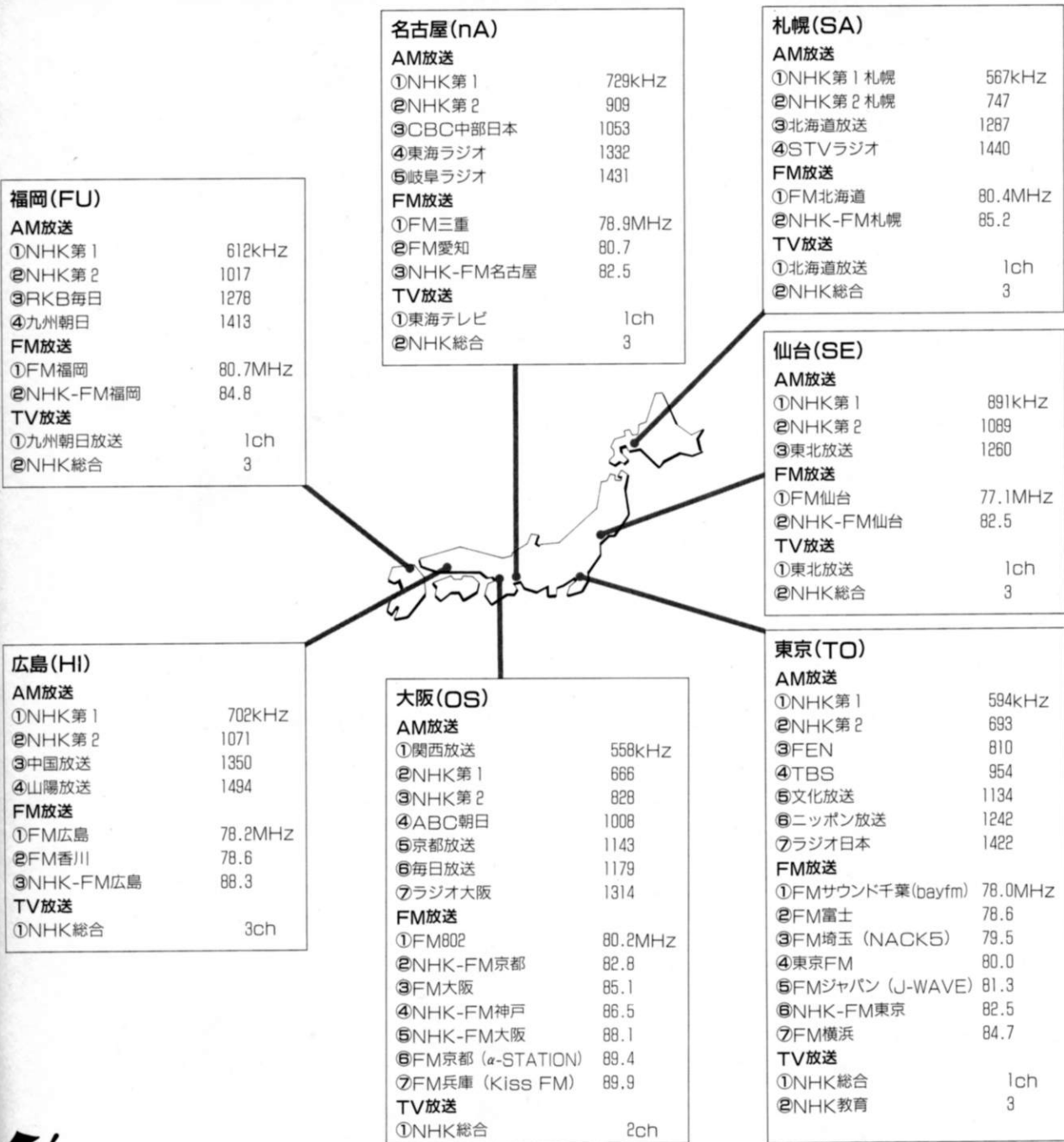


- 1** BANDボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。
- 2** P.SCANボタンを約1秒以上押す。  
プリセット局を順次約5秒ずつ受信します。  
ミュージックカレンダーが1→10→1→の方向に走ります。  
●一通り受信すると、ボタンを押す前の放送を受信します。
- 3** ご希望の放送を受信したとき、約5秒以内にP.SCANボタンを押すと、その放送を受信し続けます。

◆ 次の方法でも予約した局を選局できます。

- ①** BANDボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。
- ②** P.SCANボタンを押して、ご希望のプリセット番号を表示させる。
  - ボタンは軽くポンポンと押してください。
  - プリセット局を受信中は、ボタンを押すたびに次のプリセット局に移ります。
  - プリセット局以外を受信中は、ボタンを押すと、最初にプリセット番号「1」の局を受信します。

# エリアバンドプリセット一覧表 (マル数字はプリセット番号を示します。)



ちょっとこれを /

各バンドとも全てのプリセット番号 (FM、AMは1~10、TVは1~3) に、上記の放送局やある特定の周波数 (チャンネル) がプリセットされています。従って、FM、AMではミュージックカレンダーの1~10まで、TVでは1~3までの全てが点灯します。

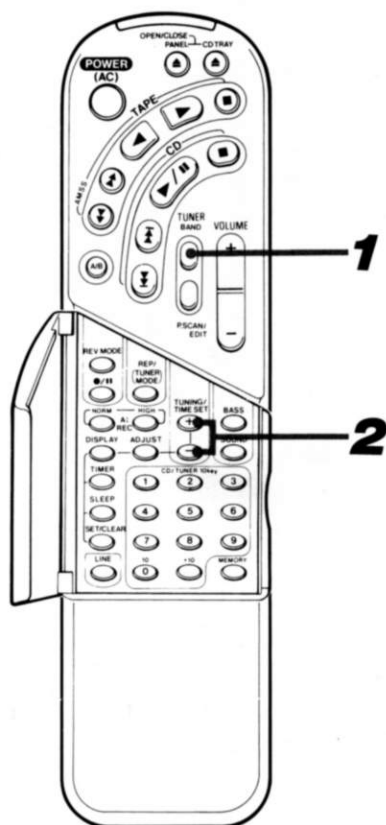


# ラジオ・テレビ音声を聞くには (つづき)

## アップ/ダウン選局のしかた

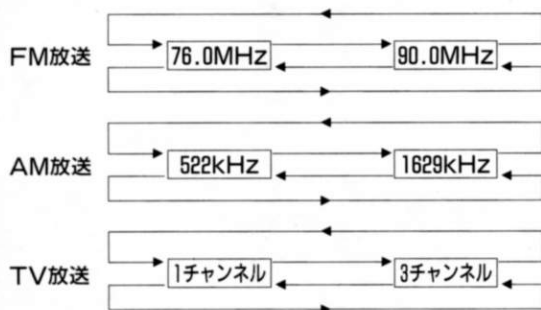
番号順に操作してください

受信したい放送局の周波数やチャンネルが分かっているとき手で選局することができます。



### 周波数(チャンネル)は次のように変わります

選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数(チャンネル)は各バンドの下限、上限に移ります。



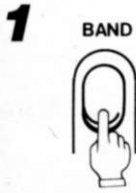
ちょっとこれを!

- 選局時、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組欄を利用すると便利です。

## 操作とはたらき

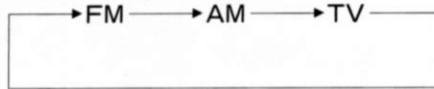
## 表示

◆どのファンクションからでも次の手順で選局できます。



**BAND**ボタンで聞きたいバンドを選ぶ。

ボタンを押すと、前に受信していたバンドと周波数またはチャンネルが表示されますので、続けてご希望のバンドを選んでください。ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。



FM 76.0 MHz  
12345678910

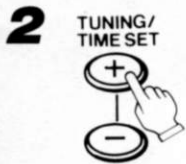
(例)FM放送 76.0MHz

AM 522 kHz  
12345678910

(例)AM放送 522kHz

TV 1ch  
123

(例)TV放送 1チャンネル



**TUNING**ボタンの「+」または「-」側を繰り返し押し続けて希望局を受信する。

ボタンを押すたびに次のように変わります。

**FM**：0.1MHzステップで変わります。

**AM**：9kHzステップで変わります。

**TV**：1チャンネルステップで変わります。

ボタンを押し続けると連続的に変わり、ボタンをはなすと周波数(チャンネル)の変化がストップします。

FM 76.0 → 76.1 → 76.2 → 76.3 →

AM 522 → 531 → 540 → 549 →

TV 1ch → 2ch → 3ch →

### AMステレオ放送について

AMステレオ放送は、既にアメリカをはじめカナダやオーストラリアなどの国々で放送されています。いよいよ日本でも主要都市(東京、名古屋、大阪、福岡など)において一部の放送局が番組の中でAMステレオ放送を開始しました。

本機では、ステレオモードにしておけばAM放送番組を受信中にAMステレオ番組が放送されれば自動的にステレオで受信します。ステレオ→モノラルの切り換えはリモコンのTUNER MODEボタンで行ってください。

AMステレオ放送は、野球中継などの場合、スタジアムの雰囲気により臨場感のある音でお楽しみいただけます。

また、FMステレオ放送に比べてサービスエリアが広く、建物や山など障害物にじゃまされることも少なく、FMステレオ放送が受信しにくかった地域でもお楽しみいただけます。

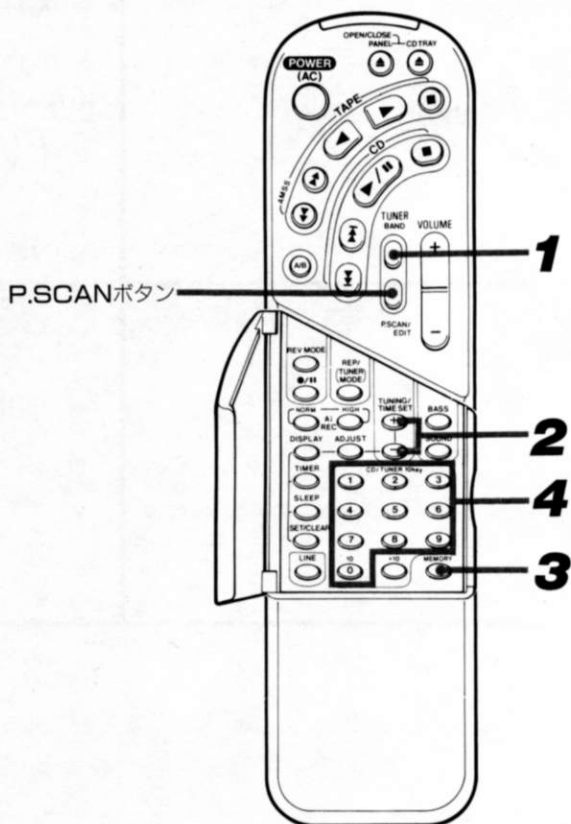
# ラジオ・テレビ音声を聞くには (つづき)

## プログラム選局のしかた 番号順に操作してください

ご希望の局をアップ/ダウン選局をした後、その受信周波数(チャンネル)をプリセットしておく、リモコンのTUNER 10 keyやP.SCANボタンを使って簡単に選局できます。

FM、AMでそれぞれ10局まで、TVで3局までプリセットできます。(FM10局、AM10局、TV 3局、合計23局)

### 希望局をプリセットするには



#### ちょっとこれを!

- 初めて操作するときは、各バンドとも、ある特定の周波数(チャンネル)が既にプリセットされています。(☞28ページ)
- すでにプリセットされているプリセット番号に新しくプリセットすると、前のプリセットは取り消されます。

## 操作とはたらき

## 表示

<p><b>1</b></p> <p>BAND</p> 	<p>BANDボタンでプリセットしたいバンドを選ぶ。</p>	 <p>(例)FM放送を受信した場合</p>
<p><b>2</b></p> <p>TUNING/ TIME SET</p> 	<p>TUNINGボタンの「+」または「-」を押して希望局を受信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●受信のしかたは30ページの<b>2</b>と同じ要領で行ってください。</li> </ul>	 <p>(例)85.1MHzの放送を受信</p>
<p><b>3</b></p> <p>MEMORY</p> 	<p>MEMORYボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「PGM」が点滅中にもう一度押すと取り消されます。</li> </ul>	 <p>「PGM」が点滅</p>
<p><b>4</b> (例)</p> 	<p>「PGM」が点滅している間に、TUNER 10key(1～10)の1つを押す。</p> <p>(例)プリセット番号「1」にプリセットするとき</p>	 <p>プリセット番号「1」を表示</p>
<p><b>5</b> 同じバンド内で上記<b>2～4</b>を繰り返す。</p>		
<p><b>6</b> 他のバンドに切り換え、<b>2～4</b>を繰り返す。</p>		

◆次の方法でも希望局をプリセットできます。

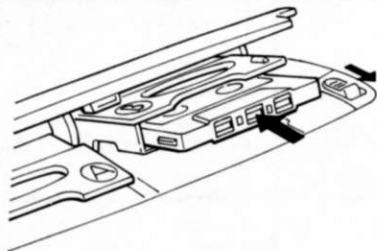
- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| ① BANDボタンでプリセットしたいバンドを選ぶ。                             | ⑤ 「PGM」が点滅している間に、MEMORYボタンを押す。 |
| ② TUNINGボタンの「+」または「-」を押して希望局を受信する。                    | ⑥ 同じバンドで②～⑤を繰り返す。              |
| ③ MEMORYボタンを押す。(「PGM」が点滅)                             | ⑦ 他のバンドに切り換え、②～⑤を繰り返す。         |
| ④ 「PGM」が点滅している間に、P.SCANボタンを押して、プリセットしたいプリセット番号を表示させる。 |                                |

プリセットした局を選局するには、27ページの方法で行ってください。

# 録音をする前に

## カセットテープの入れかた

デッキB側のEJECTスイッチを手前に引きます。

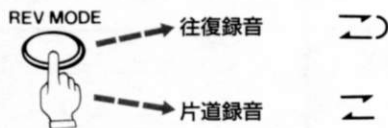


録音を始める面を上側に向け、テープの露出している方を手前にして入れます。

入れ終わったらカセットふたを閉めてください。

## オートリバース録音のしかた

REV MODEボタンを使って、テープを裏返すことなく、**往復録音**と**片道録音**をお楽しみいただけます。録音をスタートする前に、ボタンを押して表示部に次のマークを表示させてください。



- リバースモードとテープ走行方向については85ページをごらんください。
- 「↔」にしたときは、録音状態にすると自動的に「→」表示になります。
- カセットテープのB面のツメが折れている場合は、「→」表示は出ても、B面には録音されません。

## DOLBY NR録音をするには

録音をスタートする前に、本体のDOLBY NRボタンを押して表示部に「DOLBY NR」表示を出します。



DOLBY NR録音をしない場合は、ボタンを押して表示を消します。

テープのAI録音時やテープのマニュアルダビング時にはDOLBY NRは働きません。

## 自動録音レベル調整機能について

本機には、ALC(Automatic Level Control : 自動録音レベル調整のこと)が内蔵されていますので、自動的に適正なレベルで録音されます。

また、ダイナミックレンジの広いCDを録音するときには、最適録音レベルが設定できる**ピークサーチ**機能を内蔵しています。

### ピークサーチとは

ダイナミックレンジが広く、録音レベル差が大きいCDの最適な録音には、録音レベルの設定が重要です。本機のCDの録音は、**HIGH**または**NORM**の**AI REC**ボタンを押すだけで、CDの中の曲を録音する曲順で高速サーチしてピークレベルを検出し、最適録音レベルを設定します。

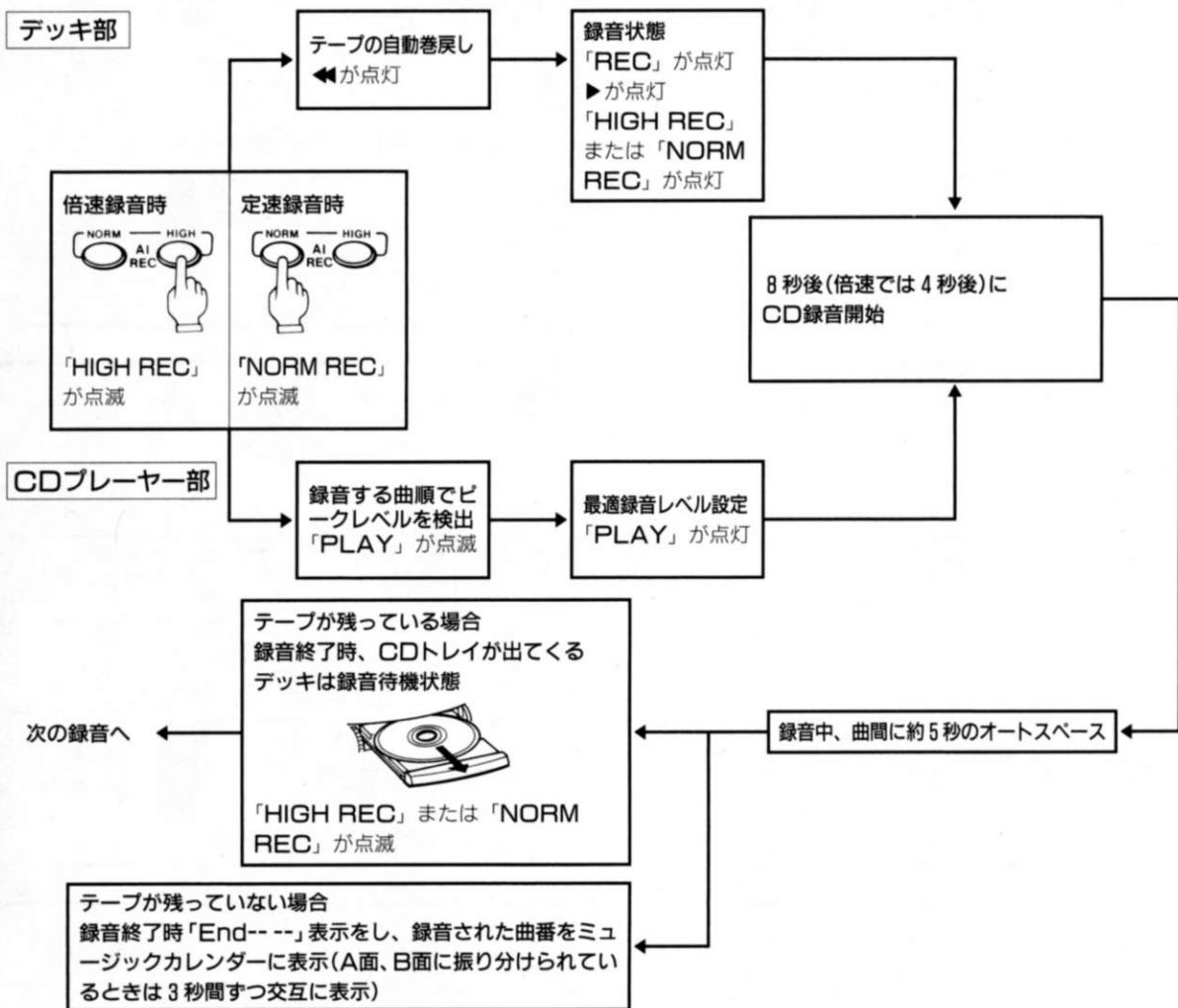




## CD AI REC (CD人工知能録音) について

CDプレーヤーもデッキBも停止状態になっていることを確認した後、HIGH (倍速) または NORM (定速) のAI REC ボタンを押すだけで、本機は自動的に次の動作を行い、CDの演奏と録音が同時にスタートします。録音を終了すると、CDトレイが自動的に出てきます。

- 「TAPE」以外であればどのファンクションからでもスタートできます。



- ◆デッキにテープを入れる前にHIGHまたはNORMボタンを押すと、そのディスクの録音に必要なテープ長を表示します。
- ◆テープA面・B面のリーダーテープ部では、録音の頭切れをなくすため、自動的に8秒後(倍速では4秒後)から録音を開始します。
- ◆録音を開始すると、自動的に約5秒の曲間をつくりながら録音します。(オートスペース)  
オートスペースが不要な場合は、マニュアル録音(☞48ページ)をしてください。
- 倍速録音時、CDのモニター音は正常に聞きとれませんが音量はしぼっておいてください。
- CD AI RECを途中でやめるときは、CDプレーヤーの■ボタンまたはデッキの■ボタンを押します。CDもデッキBも停止状態になります。
- CD AI RECをスタートすると、デッキBのカウンター数値は自動的に「000」に戻ってスタートします。

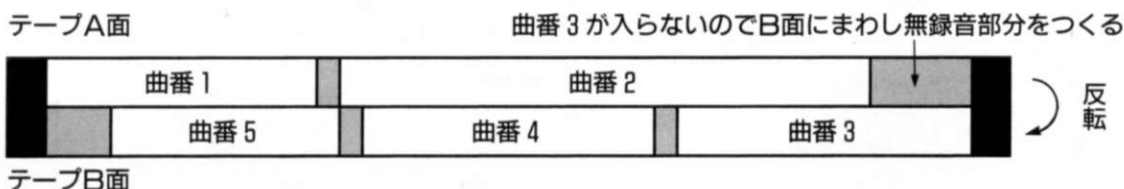
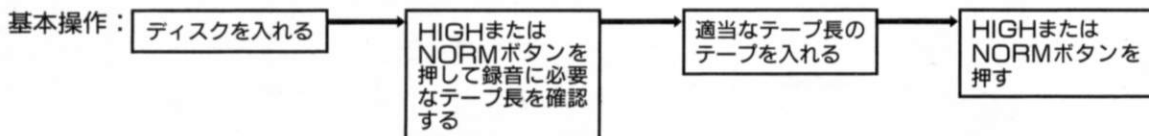
テープの途中から録音したいときには、マニュアル録音をしてください。(☞48ページ)

# CDを録音するには (つづき)

## CD AI RECでこのような編集録音ができます

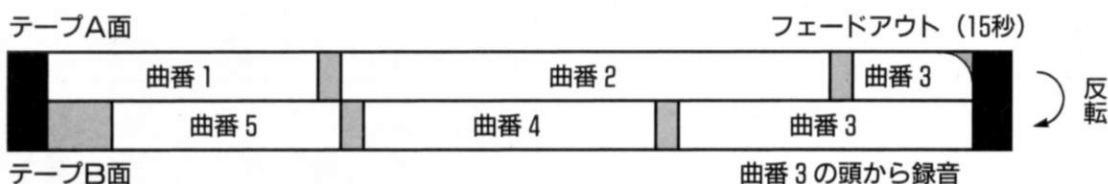
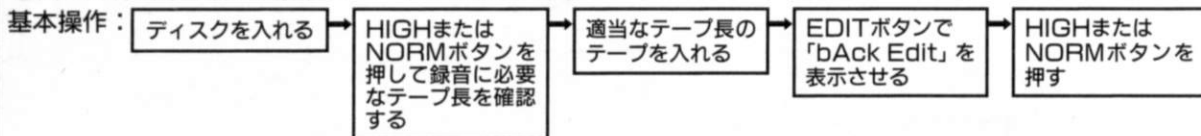
### オートエディット (自動編集) 録音 ( 37ページ)

曲順を変えずに全曲を録音します。最も簡単な方法です。



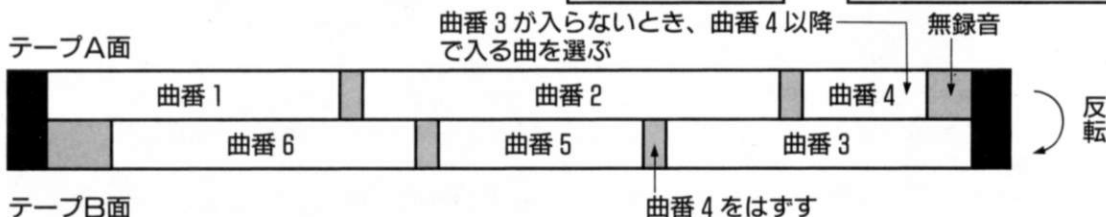
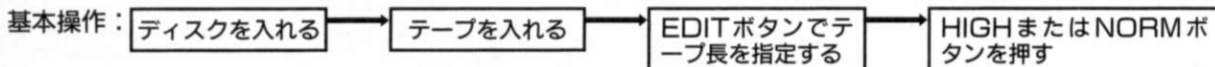
### フェードアウトバックスキップエディット録音 ( 39ページ)

ダビング途中で曲が切れる場合に、その曲をフェードアウト (音がだんだん小さくなり消えること) します。A面からB面へ反転したときは、フェードアウトした曲の頭に戻って録音をスタートします。B面の終端で曲が切れる場合もフェードアウトします。



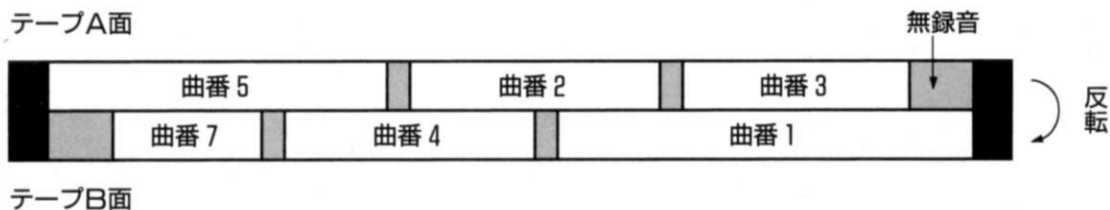
### タイムエディット録音 ( 41ページ)

指定したテープ長内に曲順に従って録音していき、A面の終わりに入らない曲は、それより後の曲と自動的に入れ替えて録音します。B面の終わりで同じ動作をします。テープ残時間が少なく、音切れ無しでテープがつかれます。



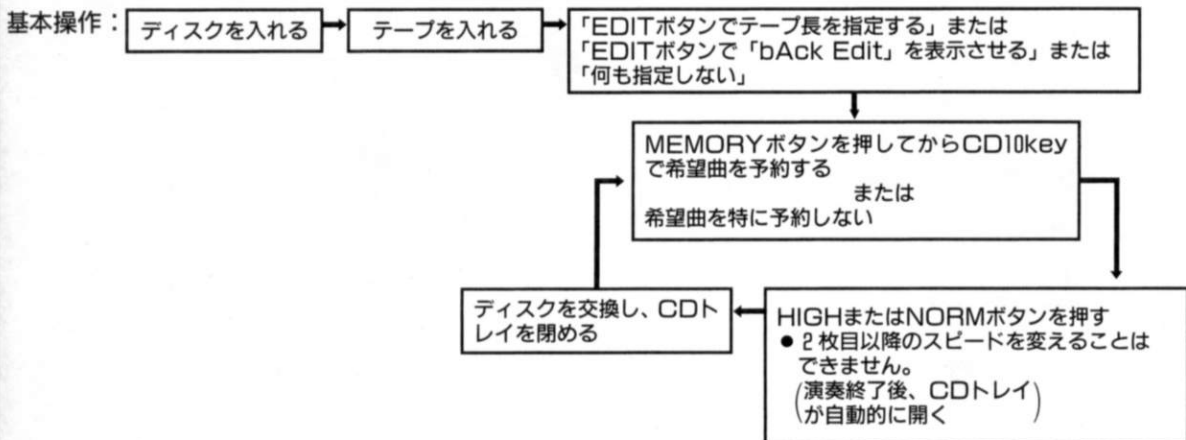
## プログラムエディット録音 ( 43ページ)

指定したテープ長内に、お好みの曲順に並べかえてテープがつくれます。



## コンティニュアスエディット (連続編集) 録音 ( 45ページ)

何枚ものディスクの中のお好みの曲を、連続して編集できます。



### ちょっとこれを /

- CDの演奏が先に終了してCDトレイが出てきたとき、編集録音の動作を終えると、テープの残りの部分は消去されません。ディスクを取出し、HIGHまたはNORMボタンを押すと、テープの残りの部分を消去できます。
- 音楽などの中で特に音の小さい部分があるディスクを使用してCD AI RECをしますと、正常な編集録音ができないことがあります。

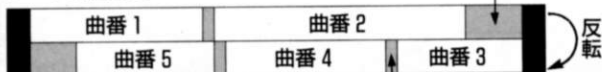
# CDを録音するには (つづき)

## オートエディット (自動編集) 録音のしかた 番号順に操作してください

5曲入りディスク (全演奏時間47分20秒) を曲順を変えずにC-50テープに全部録音する場合

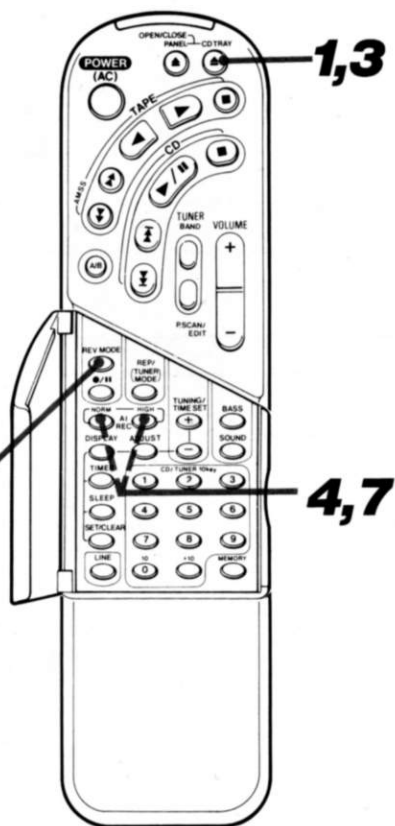
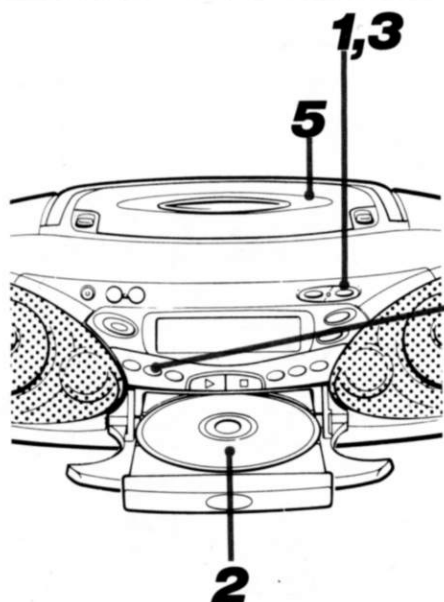
曲番3が入らないのでB面にまわし無録音部分をつくる

テープA面25分



テープB面25分

無録音



### 操作とはたらき

### 表示

◆ディスクが入っているときは、停止状態にして4から始めてください。

OPEN/CLOSE  
CD TRAY

1



本体のCD TRAY ボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSE ボタンを押す。  
CDトレイが出てきます。

CD OPEN

12345678910▶

2

録音するディスクを入れる。

3

再び上記1の操作をする。  
CDトレイが引っ込み、表示部にディスクの内容が表示されます。

(例)

CD 5 47.20

TOTAL

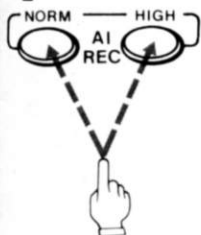
12345

5曲入り 全演奏時間47分20秒

## 操作とはたらき

## 表示

4



HIGHまたはNORMボタンを押す。

このディスクの録音に必要なテープ長をC-46、50、54、60、70、74、90の中から選んで表示します。

またA面に入る曲番とその全演奏時間、B面に入る曲番とその全演奏時間を交互に表示します。

- ディスクによっては「Err」(エラー)表示をすることがあります。その場合はマニュアル録音(48ページ)をしてください。

(例) C-50テープが適当

C-50 22:38  
side A  
12

A面に曲番1、2を録音  
その全演奏時間は22分38秒

C-50 24:55  
side B  
345

B面に曲番3、4、5を録音  
その全演奏時間は24分55秒

5

デッキBに適当な録音用テープを入れる。

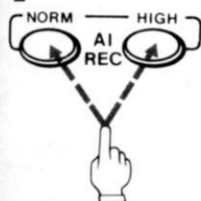
C-50 22:38 side B  
side A  
12

6

REV MODEボタンを押して「Z」を、DOLBY NR録音をする場合は、本体のDOLBY NRボタンを押して「DOLBY NR」を表示させる。

C-50 22:38 side B  
side A  
12 DOLBY NR Z

7



押した後は、全て自動的にたります。

倍速録音をするときはHIGHボタンを、定速録音をするときはNORMボタンを押す。

曲番1から録音を始めます。

デッキがA面の終端までくると、CDは演奏していた曲の頭に戻り一時停止します。

このときデッキは録音していた曲の頭まで戻り、その後、A面の終端まで消去します。

デッキはA面の終端で反転し、リーダーテープ分の8秒間(倍速では4秒間)送りをした後B面の録音を始めます。

全曲録音終了後、CDトレイが自動的に出てきます。

デッキは録音待機状態になります。

このとき、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。時間表示部にはテープの残時間を表示します。

- A面で録音を終了した場合は、A面に入っている曲番をミュージックカレンダーに表示し、時間表示部には「Cont」(連続)を表示します。

録音をスタートしたとき(倍速録音時)

REC Cd 1 0:01 side B  
side A 12345 PLAY REC Z

REC Cd 3 0:00 side B  
side B 345 PLAY REC Z

録音していた曲を消去中。「PLAY」が点滅

REC Cd 3 0:01 side B  
side B 345 PLAY REC Z

B面の録音を開始

●これで録音を止める場合は、ディスクを取出して本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押します。

続けて録音する場合には、次のディスクを入れて本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押した後、7で押したボタンを押してください。



# CDを録音するには(つづき)

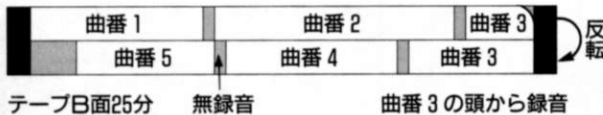
## フェードアウトバックスキップエディット録音のしかた

番号順に操作  
してください

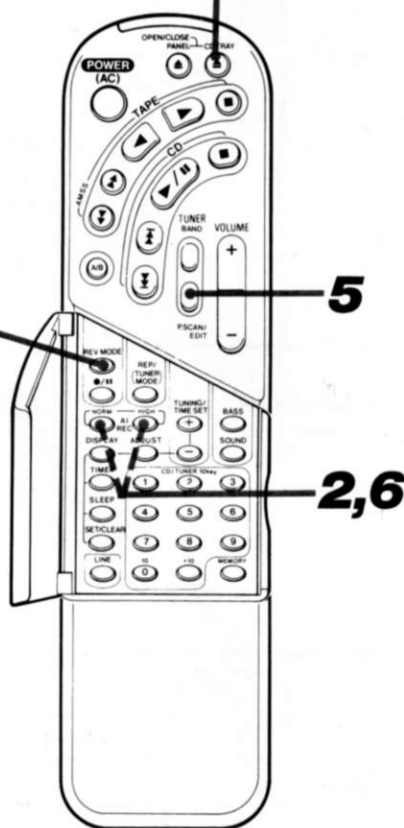
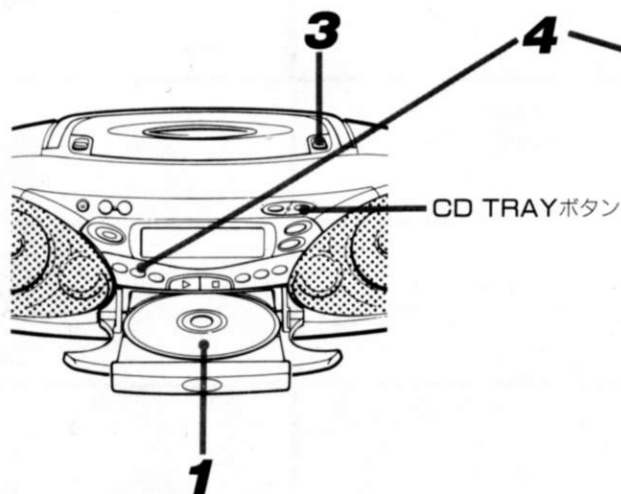
5曲入りディスク(全演奏時間47分20秒)を曲順を変えずにC-50テープに全部録音する場合

テープA面25分

フェードアウト(15秒)



CD TRAY-OPEN/CLOSEボタン



### 操作とはたらき

### 表示

◆ディスクが入っている場合には、停止状態にして**2**から始めてください。

**1** 録音するディスクを入れる。(☞37ページの**1**~**3**の操作)  
表示部にディスクの内容が表示されます。

(例)   
5曲入り 全演奏時間47分20秒

**2** HIGHまたはNORMボタンを押し、このディスクの録音に必要なテープ長を確認する。  
(☞38ページの**4**)

(例)

**3** デッキBに、適当な録音用テープを入れる。

**4** REV MODEボタンを押して表示部に「Z」を、DOLBY NR録音をする場合は、本体のDOLBY NRボタンを押して「DOLBY NR」を表示させる。

(例)   
DOLBY NR Z

## 操作とはたらき

## 表示

5



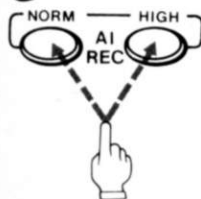
EDITボタンを1度押す。

表示部に「bAck Edit」が表示されます。

- ボタンを押すたびに、「bAck Edit」→「C-46 Edit」→「C-54 Edit」→「C-60 Edit」→「C-90 Edit」→（編集モード解除）→「bAck Edit」……の順で変わります。



6



倍速録音するときはHIGHボタンを、定速録音するときはNORMボタンを押す。

曲番1から録音を始めます。

押した後は、全て自動的にはたります。

A面の終端までくると、CDとデッキは今演奏中（録音中）の曲の頭まで戻ります。

再度、その曲の頭から録音をして、テープ終了の15秒（倍速では7.5秒）前からフェードアウト録音をします。

デッキはA面の終端で反転し、リーダーテープ分の8秒間（倍速では4秒間）送りをした後、フェードアウトした曲の頭から再度録音を開始します。

録音終了後、CDトレイが自動的に出てきます。

デッキは録音待機状態になります。

このとき、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。

時間表示部にはテープ残時間を表示します。

- A面で録音を終了した場合は、A面に入っている曲番をミュージックカレンダーに表示し、時間表示部には「Cont」（連続）表示をします。

録音をスタートしたとき（定速録音時）



（例）曲番3の頭に戻る。「PLAY」が点滅  
「◀」が点滅



（例）曲番3の頭から再度録音



（例）B面に曲番3の頭から録音

- これで録音を止める場合は、ディスクを取出して本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押します。

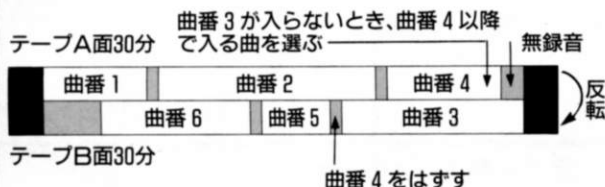
続けて録音する場合には、次のディスクを入れて本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押した後、6で押したボタンを押してください。

- ◆ B面に曲が入り切らない場合は、B面のテープ終了の15秒前からフェードアウトします。

# CDを録音するには(つづき)

## タイムエディット録音のしかた 番号順に操作してください

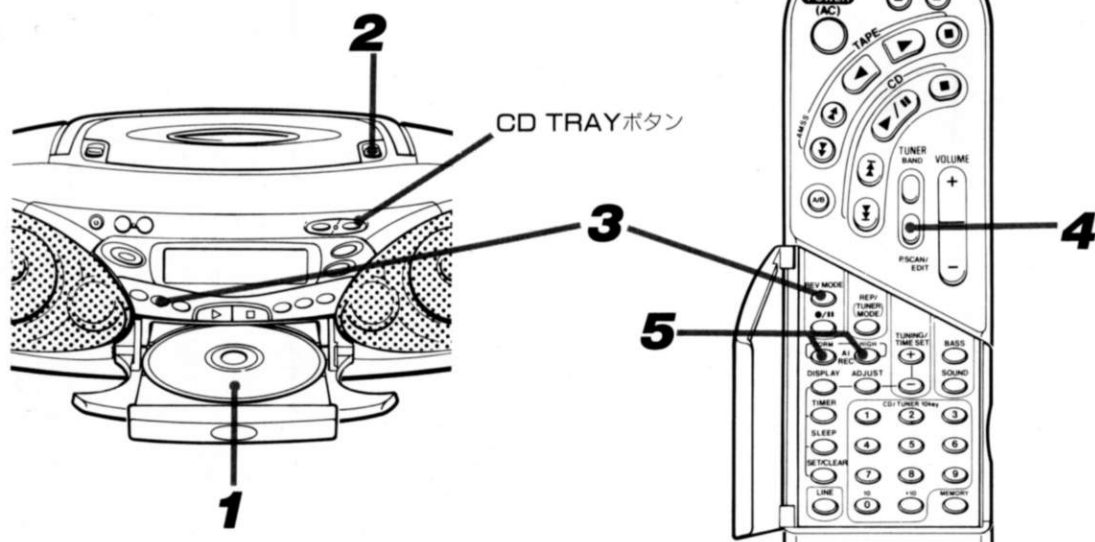
C-60テープに6曲入りディスク(全演奏時間58分30秒)を録音する場合



ちょっとこれを!

編集対象曲は19曲までで、20曲以上のディスクでは「Err」を表示して録音をスタートしません。

CD TRAY-OPEN/CLOSEボタン



### 操作とはたらき

◆ディスクが入っている場合には、停止状態にして**2**から始めてください。

- 1** 録音するディスクを入れる。(37ページの**1**~**3**の操作)  
表示部にディスクの内容が表示されます。

- 2** デッキBに、C-60の録音用テープを入れる。

- 3** REV MODEボタンを押して表示部に「**Σ**」を、DOLBY NR録音する場合は、本体のDOLBY NRボタンを押して「DOLBY NR」を表示させる。

### 表示



6曲入り 全演奏時間58分30秒



## 操作とはたらき

4



EDITボタンを押して、入れたテープのテープ長C-60を表示させる。

ボタンを押すたびに右図に示すように順番に表示されます。

C-99までの任意のテープ長に合わせることもできます。

まず、C-46、54、60、90のいずれかを表示させてください。

(例)C-12に合わせるとき

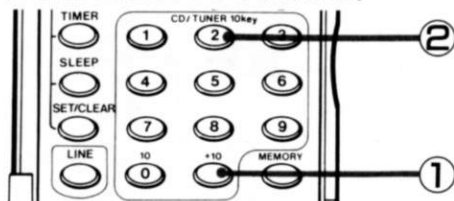
①「+10」のボタンを1回押す。

②「2」のボタンを押す。

◆リモコンまたは本体の **▶▶** または **◀◀** のボタンを使ってテープ長を設定することもできます。

▶▶ のボタンを押す(押し続ける)と数字が大きくなります。

◀◀ のボタンを押す(押し続ける)と数字小さくなります。



## 表示



3と同じ表示(編集モード解除)

5



倍速録音するときHIGHボタンを、定速録音するときNORMボタンを押す。

曲番1から録音を始めます。

押した後は、全て自動的にたります。

録音終了後、CDトレイが自動的に出てきます。

デッキは録音待機状態になります。

このとき、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。時間表示部にはテープの残時間を表示します。

録音をスタートしたとき(倍速録音)



●これで録音を止める場合は、ディスクを取出して本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押します。

続けて録音する場合には、次のディスクを入れて本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押した後、5で押したボタンを押してください。

# CDを録音するには (つづき)

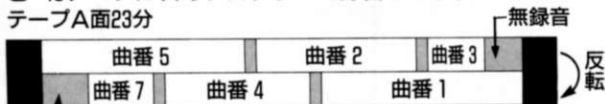
## プログラムエディット録音のしかた

ここに次の8曲入りディスクがあります。

曲番1：11分09秒 曲番2：7分26秒 曲番3：4分37秒  
 曲番4：9分21秒 曲番5：10分00秒 曲番6：3分48秒  
 曲番7：1分10秒 曲番8：2分59秒

C-46テープに次のプログラムで録音します。

テープA面23分



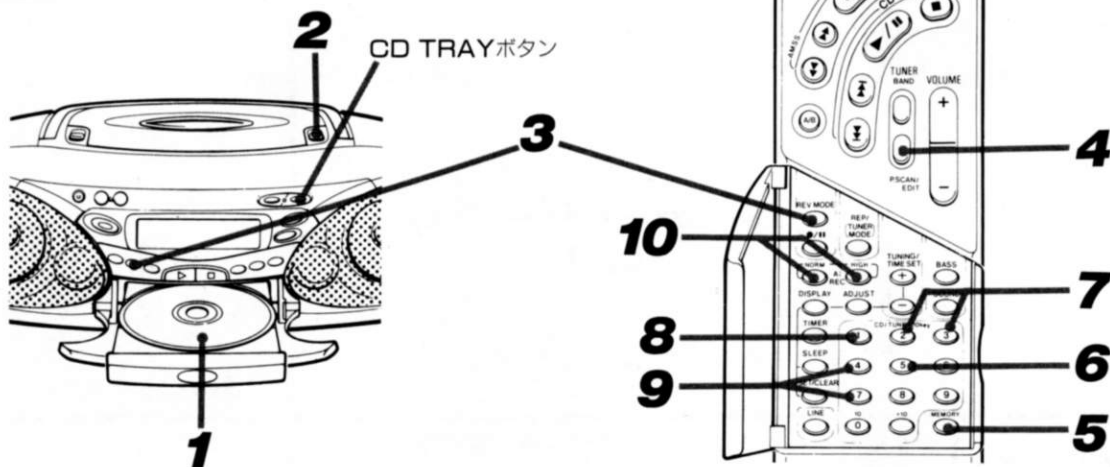
無録音  
テープB面23分



ちょっとこれを!

- B面のテープ残時間をこえる曲を予約しようとする、「Err」(エラー)表示がでます。
- 予約できるのは20曲までです。

CD TRAY-OPEN/CLOSEボタン



### 操作とはたらき

### 表示

◆ディスクが入っている場合には、停止状態にして**2**から始めてください。

**1** 録音するディスクを入れる。(37ページの**1**~**3**の操作)  
表示部にディスクの内容が表示されます。

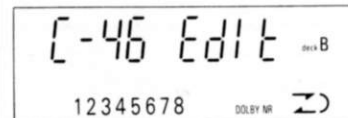


**2** デッキBに、C-46の録音用テープを入れる。

**3** REV MODEボタンを押して表示部に「Z」を、DOLBY NR録音する場合は、本体のDOLBY NRボタンを押して「DOLBY NR」を表示させる。






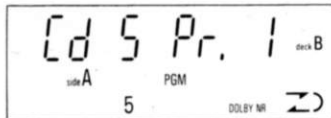
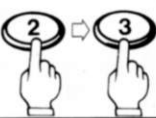


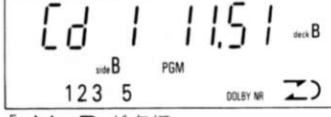

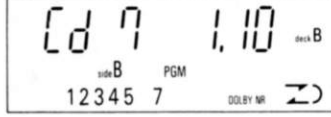


**4** EDITボタンを押して、入れたテープのテープ長C-46を表示させる。(42ページの**4**の操作)





## 操作とはたらき

## 表示

<p><b>5</b></p> 	<p>MEMORYボタンを押す。</p>	 <p>「PGM」が点滅</p>
<p><b>6</b></p> 	<p>「5」のボタンを押す。</p> <p>1番目に曲番5が予約されました。</p>	 <p>「PGM」が点灯</p>  <p>A面のテープ残時間が表示される。</p>
<p><b>7</b></p> 	<p>「2」と「3」のボタンを押す。</p> <p>2番目に曲番2が、3番目に曲番3が予約されました。</p>	
<p><b>8</b></p> 	<p>「1」のボタンを押す。</p> <p>4番目に曲番1が予約されました。 A面の残時間を越えたので、B面への録音となります。</p>	 <p>「side B」が点灯</p>
<p><b>9</b></p> 	<p>「4」と「7」のボタンを押す。</p> <p>5番目に曲番4が、6番目に曲番7が予約されました。</p>	
<p><b>10</b></p>  <p>押した後は、全て自動的にたります。</p>	<p>倍速録音するときにはHIGHボタンを、定速録音するときにはNORMボタンを押す。</p> <p>1番目の曲番5から録音を始めます。</p> <p>録音終了後、CDトレイが自動的に出てきます。 デッキは録音待機状態になります。 このとき、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。 時間表示部にはテープの残時間を表示します。</p>	<p>録音をスタートしたとき(定速録音時)</p> 

●これで録音を止める場合は、ディスクを取出して本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押します。

続けて録音する場合には、次のディスクを入れて本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押した後、録音する曲を予約します。その後、**10**で押したボタンを押してください。

# CDを録音するには (つづき)

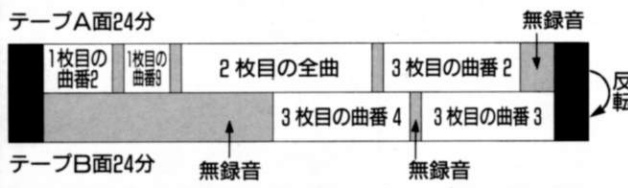
## コンティニアスエディット(連続編集)録音のしかた

番号順に操作  
してください

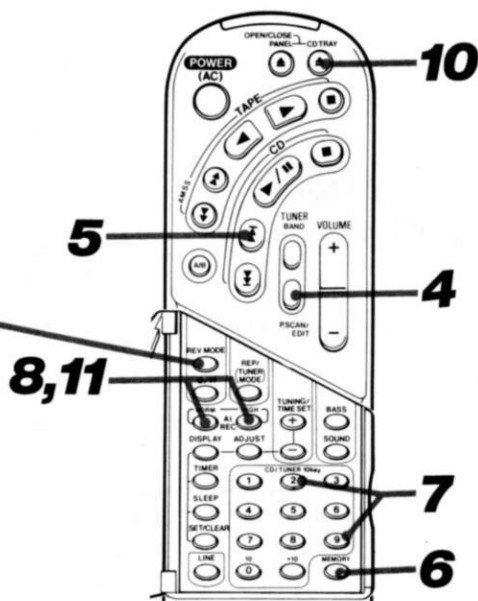
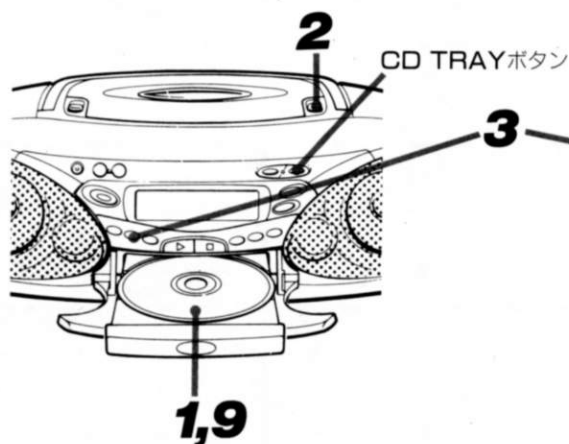
C-48テープに、3枚のディスクを使って次のように録音します。



1枚目 2枚目 3枚目  
 曲番2と9をプログラ ムエディット録音 4曲入りの全曲を タイムエディット録音 曲番2と3と4をプログラ ムエディット録音



◆各曲を予約する要領は、43～44ページのプログラムエディット録音と同じです。



### 操作とはたらき

### 表示

**1** 1枚目のディスクを入れる。(37ページの**1**～**3**の操作)

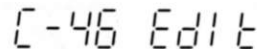


**2** デッキBに、C-48の録音用テープを入れる。

**3** REV MODEボタンを押して表示部に「Z」を、DOLBY NR録音する場合は、本体のDOLBY NRボタンを押して「DOLBY NR」を表示させる。



**4** EDITボタンを2度押して「C-46 Edit」を表示させる。


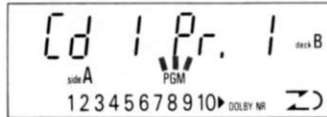
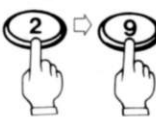

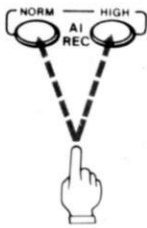




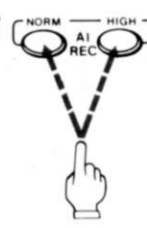




**5** >>> ボタンを2度押して「C-48 Edit」を表示させる。



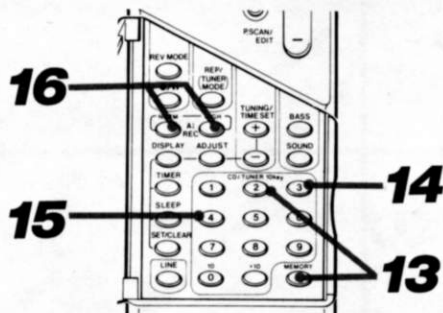
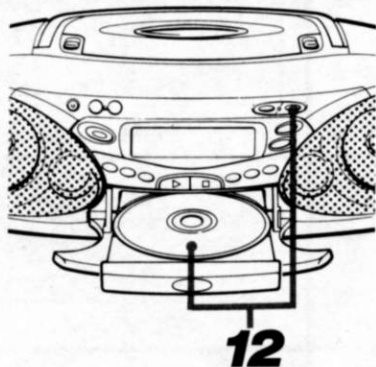
## 操作とはたらき

## 表示

<p><b>6</b></p>  <p>MEMORY</p>	<p>MEMORY ボタンを押す。</p>	 <p>「PGM」が点滅</p>
<p><b>7</b></p> 	<p>「2」と「9」のボタンを押す。 A面のテープ残時間を表示します。</p>	 <p>「PGM」が点灯</p>
<p><b>8</b></p> 	<p>倍速録音するときには<b>HIGH</b>ボタンを、定速録音するときには<b>NORM</b>ボタンを押す。 曲番 2 から録音を始めます。</p> <p>1 枚目のディスクの録音が終わると、CDトレイが自動的に出てきます。 デッキBは録音待機状態になります。</p>	<p>録音をスタートしたとき(倍速録音時)</p>  <p>録音スタート</p>  <p>A面の残時間を表示 「HIGH REC」と「▶」が点滅</p>
<p><b>9</b> ディスクを交換します。</p>		
<p><b>10</b></p>  <p>OPEN/CLOSE CD TRAY</p>	<p>本体のCD TRAY ボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSE ボタンを押す。</p>	 <p>(例) 4 曲入り 全演奏時間11分02秒</p>
<p><b>11</b></p> 	<p>8で押したボタンを押す。 曲番 1 から録音を始めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ディスクが2 枚目以降で、ディスクを入れずに<b>HIGH</b>または<b>NORM</b>ボタンを押すと、デッキはテープの残りの部分を消去します。</p> </div> <p>2 枚目のディスクの録音が終わると、CDトレイが自動的に出てきます。 デッキBは録音待機状態になります。</p>	 <p>録音スタート</p>  <p>A面の残時間を表示 「HIGH REC」と「▶」が点滅</p>

# CDを録音するには (つづき)

## コンティニューアスエディット(連続編集)録音のしかた (つづき)



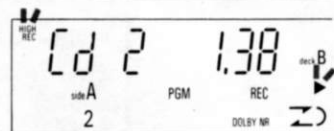
### 操作とはたらき

### 表示

- 12** ディスクを交換し、本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押す。



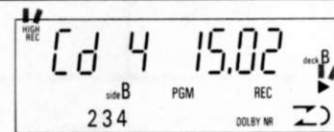
- 13** MEMORYボタンを押してから「2」のボタンを押す。  
A面のテープ残時間を表示します。



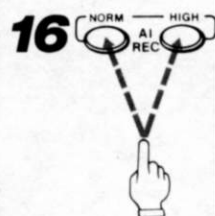
- 14** 「3」のボタンを押す。  
曲番3はA面に入らないため、B面への録音となります。  
B面のテープ残時間を表示します。



- 15** 「4」のボタンを押す。



- 16** 前ページの8で押したボタンを押す。  
曲番2から録音を始めます。



3枚目のディスクの録音が終わると、CDトレイが自動的に出てきます。  
デッキBは録音待機状態になります。

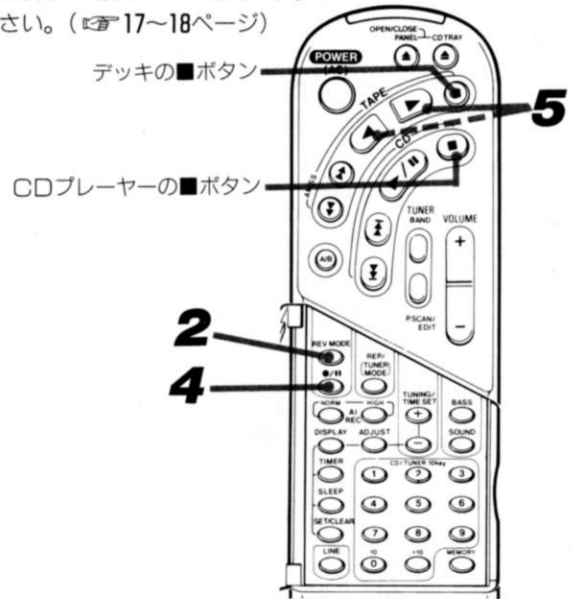
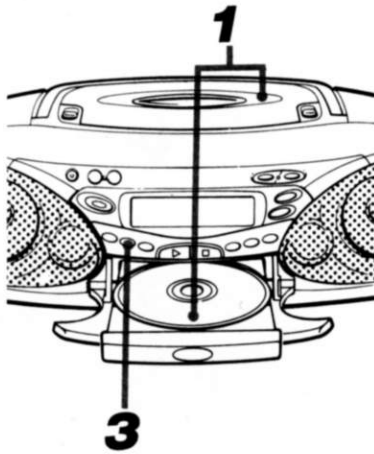


- これで録音を止める場合は、ディスクを取出して本体のCD TRAYボタンまたはリモコンのCD TRAY-OPEN/CLOSEボタンを押します。

# マニュアル(手動)録音のしかた

番号順に操作してください

CD AI REC (CD人工知能録音)を使用しない方法です。倍速録音はできません。  
5秒間のオートスペースを入れたくない場合や、テープの途中から録音する場合などに便利です。  
お好みの曲だけを録音するときは、あらかじめ予約しておいてください。(P.17~18ページ)



## 操作とはたらき

## 表示

<p><b>1</b> ディスクとテープを入れる</p>	
<p><b>2</b> REV MODEボタンでリバースモードを選ぶ。</p>	<p>片道録音</p>
<p><b>3</b> 本体のDOLBY NRボタンでDOLBY NR録音をするかしないかを選ぶ。</p>	<p>DOLBY NR録音</p>
<p><b>4</b> ●/   ボタンを押す。 録音待機状態になります。</p>	<p>「◀▶」が点滅</p>
<p><b>5</b> ▶ (または◀) ボタンを押す。 CDの録音が始まります。</p>	<p>正方向で録音を開始したとき</p>

- 録音中、CDプレーヤーが停止状態になるとデッキも停止します。テープの終端でデッキが停止するとCDプレーヤーも停止状態になります。
- 録音中にCDプレーヤーの■ボタンを押すとデッキも停止します。デッキの■ボタンを押すとCDも停止します。

# テープをダビングするには

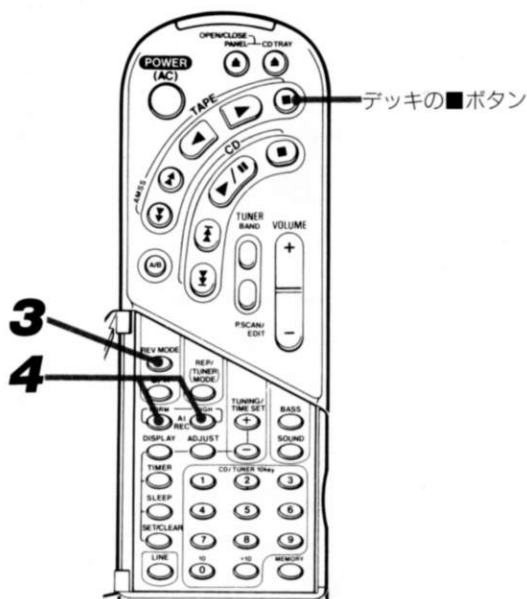
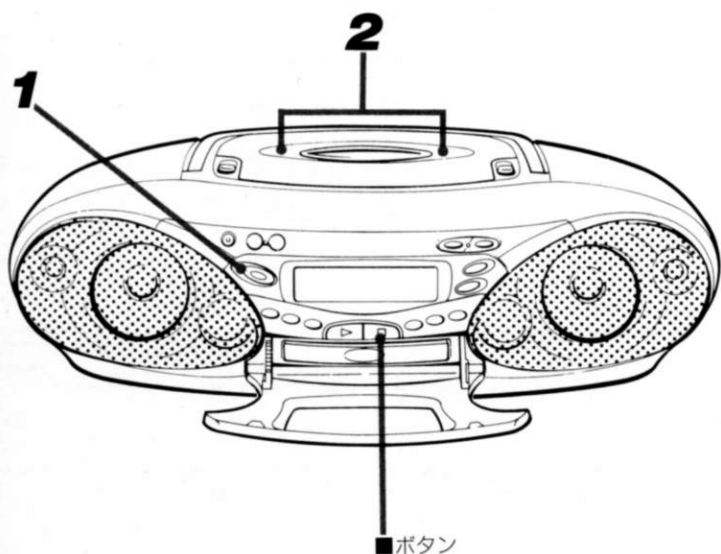
## テープAI録音のしかた 番号順に操作してください

ファンクションが「TAPE」で、デッキA、デッキBが両方とも停止状態になっていれば、HIGHまたはNORMボタンを押すだけで、本機は自動的に操作を行い、デッキAの再生とデッキBの録音を同時にスタートします。(テープAI録音)

定速ダビング、倍速ダビングの2通りのダビングをすることができます。

**定速ダビング** デッキAの再生音を聞きながら編集ダビングしたいとき。

**倍速ダビング** テープのはじめから終わりまで短時間(定速ダビング時の約 $\frac{1}{2}$ )でダビングしたいとき。






## 操作とはたらき

## 表示

<p><b>1</b></p> 	<p>FUNCTIONボタンを押してファンクションを「TAPE」にする。</p>	<p>TAPE</p>
<p><b>2</b></p> 	<p>デッキAに再生するテープを、デッキBに録音するテープを入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●再生、録音する面を上側に向けて入れてください。</li> <li>●できるだけ同じテープ長のものご使用ください。</li> </ul>	<p>TAPE 000 <small>deck B</small></p>
<p><b>3</b> REV MODE</p> 	<p>REV MODEボタンを押してリバースモードを選ぶ。カセットの両面に続けて録音するとき</p> <p>カセットの片面だけに録音するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「(Z)」にした場合は、録音をスタートすると自動的に「Z」に切り換わります。</li> </ul>	<p>TAPE 000 <small>deck B</small></p> <p>Z</p> <hr/> <p>TAPE 000 <small>deck B</small></p> <p>Z</p>
<p><b>4</b></p>  <p>押した後は、全て自動的にはたらきます。</p>	<p>倍速ダビングするときはHIGHボタンを、定速ダビングするときはNORMボタンを押す。</p> <p>次の①～③の順で自動的にダビングを始めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① デッキAとデッキBでテープ終端まで巻戻して停止する。</li> <li>② デッキAで早送り→巻戻しをして曲の頭出しをして停止する。</li> <li>③ デッキBで、録音状態でリーダーテープ部分の8秒間(倍速では4秒間)テープを送った後、デッキAが再生を開始する。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ダビングをスタートすると、デッキBのカウンター数値は自動的に「000」に戻ってスタートします。</li> </ul>	<p>ダビング開始時の表示(倍速録音時)</p>  <p>(例)片道録音の場合</p>

- 片道録音の場合、デッキAまたはデッキBがテープの終端までくると、両方のデッキが同時に停止します。
- 往復録音の場合、デッキAまたはデッキBがテープの終端までくると、終端まできたデッキが反転しますが、ダビングはそのまま続きます。どちらかのデッキが両面終わればダビングは終了します。
- ダビングを途中で停止するときは、リモコンではデッキの■ボタンを、本体では■ボタンを押してください。

 **ちよっとこれを!**

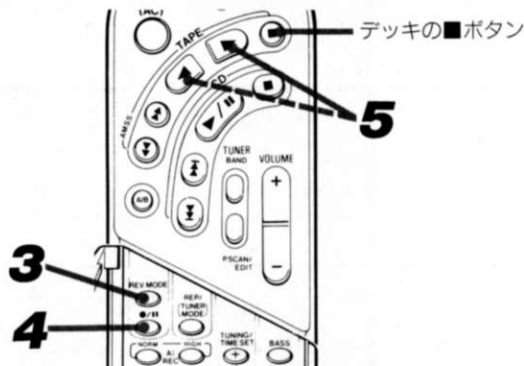
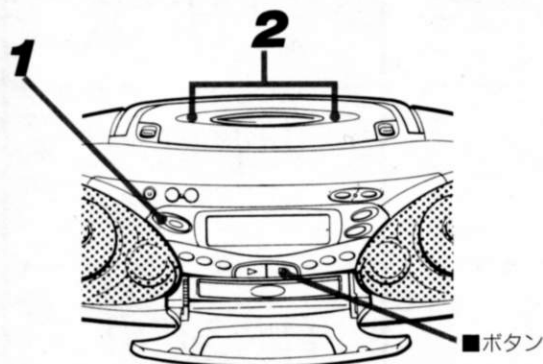
- 倍速ダビング中、モニター音は正常に聞きとれませんが音量はしぼっておいてください。
- ダビング中、定速→倍速の切り換えはできません。
- テレビなどの近くに置いてダビング(特に倍速ダビング時)しますと、テレビなどの影響で異常音が混じって録音されることがあります。このようなときは、テレビの電源を切るか、テレビから離してください。

# テープをダビングするには (つづき)

## マニュアルダビングのしかた

番号順に操作してください

テープAI録音を使用しない方法です。お好みの曲だけを集めて録音するときなどに便利です。



### 操作とはたらき

### 表示

<b>1</b> FUNCTIONボタンを押してファンクションを「TAPE」にする。	TAPE
<b>2</b> デッキAに再生するテープを、デッキBに録音するテープを入れ、それぞれご希望のところを頭出しする。(P.21~23ページ)	
<b>3</b> REV MODEボタンでリバースモードを選ぶ。	片道録音の場合
<b>4</b> ボタンを押す。 録音待機状態になります。	「◀▶」が点滅
<b>5</b> (または◀) ボタンを押す。 ダビングが始まります。 デッキA、Bともにテープ走行方向は同一になります。	12

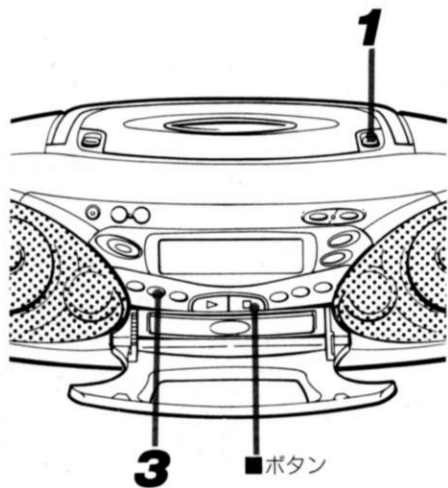
◆ダビング中、●/|| ボタンを押すとデッキBは一時停止状態になり、デッキAも停止します。このとき、デッキA側のテープを入れ替えて▶ (または◀) ボタンを押すと、再びダビングが始まります。

●片道録音の場合、デッキAまたはデッキBがテープの終端までくると、両方のデッキが同時に停止します。

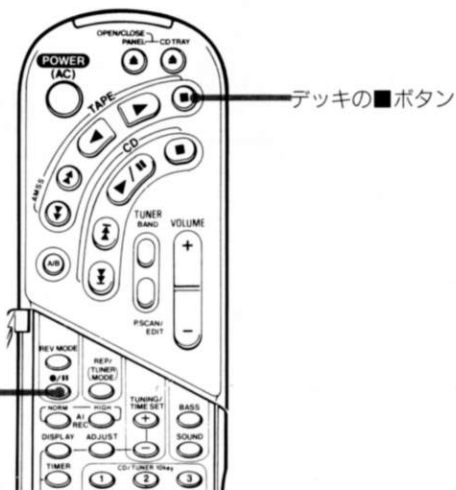
●往復録音の場合には、デッキAまたはデッキBがテープの終端までくると、終端まできたデッキが反転しますが、ダビングはそのまま続きます。どちらかのデッキが両面終わればダビングは終了します。

●ダビングを途中で止めるときは、リモコンではデッキの■ボタンを、本体では■ボタンを押すと両方のデッキが停止します。

# ラジオ・テレビ音声を録音するには



**2** 録音したい放送を受信する。



操作とはたらき	表示
<p><b>1</b> カセットテープを入れる。 録音の頭切れをなくすため、あらかじめリーダーテープ部を巻取っておいてください。</p>	
<p><b>2</b> 録音したい放送を受信する。(25~32ページ)</p>	<p>(例)FM放送の88.1MHzを受信</p>
<p><b>3</b> 本体のDOLBY NRボタンでDOLBY NR録音をするかしないかを選ぶ。</p>	<p>DOLBY NRを使って片道録音</p>
<p><b>4</b> 前ページの3~5の操作をする。 録音が始まります。</p>	<p>片道録音の場合</p>

●録音を終えるときは、リモコンではデッキの■ボタンを、本体では■ボタンを押します。

## 録音を一時的に止めるには



●/|| ボタンを押します。  
テープが走行している方向のインジケータ▶または◀が点滅します。

点滅しているインジケータと同方向の▶または◀ボタンを押すと録音が始まります。

## ビート音が出るときは

ラジオ放送を録音中、ビート音(“ピー”という音)が出ることがあります。

RECORD BEAT CANCEL



このような場合は、背面の RECORD BEAT CANCELスイッチをビート音が最も小さくなる位置(1、2または3)に切り換えてください。

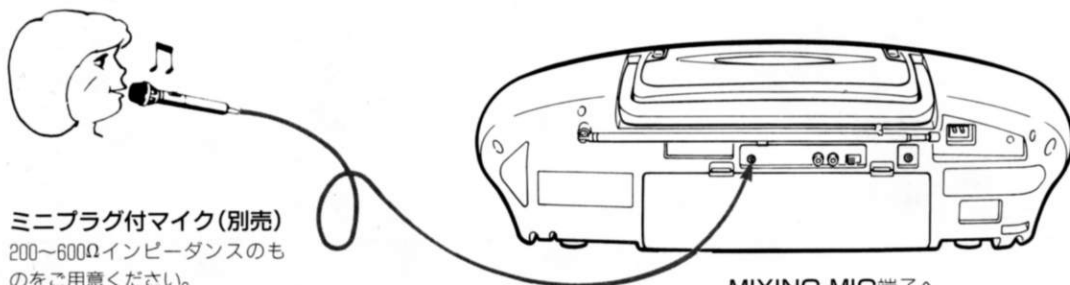
# 他の機器を接続して使うには

## 接続上のご注意

- 接続する前に、各機器の電源を切っておいてください。
- 接続コードはしっかり差し込んでください。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って。
- くわしい操作は各機器の説明書をごらんください。

## マイクミキシングをするには

マイク（別売）を使ってテープ、CD、ラジオ・テレビ音声、LINE IN端子に接続した音源とのミキシングができます。



ミニプラグ付マイク(別売)  
200~600Ωインピーダンスのもの  
をご用ください。  
標準プラグ付マイクの場合は、  
プラグアダプターT-27(別売)  
をご使用になると接続できます。

MIXING MIC端子へ

- 1 マイクを接続する。
- 2 電源を入れマイクの音を出す。
- 3 本体のFUNCTIONボタンでミキシングするソースを選び、演奏状態にする。
- 4 マイクとミキシングソースの全体の音量をリモコンのVOLUMEボタンで調節する。

ミキシングした音を録音するには……

デッキBに録音用テープを入れ、デッキを録音状態にしてください。

◆テープとのミキシング録音の場合は、「定速」のテープAI録音が便利です。



ちょっとこれを!

- ミキシングをしているとき、ハウリング(ピーという音)が起こることがあります。そのときはマイクをできるだけスピーカーから離すか、音量を小さくしてください。
- 「倍速」のテープAI録音でミキシングの音を録音することはできません。
- DOLBY NR録音したテープでミキシングをした場合、マイクの音にDOLBY NRは効きません。
- 音声多重のテープやCDとミキシングした場合は、歌手の声を消すことはできません。
- ミキシングをしないときは、マイクをMIXING MIC端子から抜いておいてください。

## マイクから録音するには

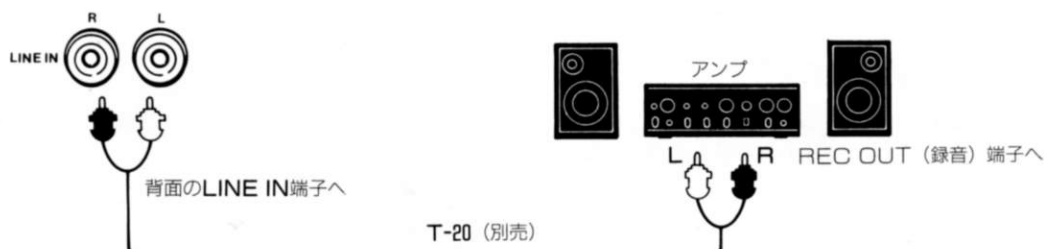
- 1 前ページと同様にマイクを接続する。
  - 2 FUNCTIONボタンを押して表示部に「TAPE」を表示させる。
  - 3 デッキBに録音用テープを入れる。  
(デッキAにはテープを入れない。)
  - 4 デッキBを録音状態にする。  
マイクの音はスピーカーでモニターできます。
- 事前に試し録音をすることをおすすめします。録音レベルはマイクと口元との距離で調節してください。

## ヘッドホンで聞くには



- ミニプラグ付のステレオヘッドホンをご用ください。  
標準プラグ付ステレオヘッドホンの場合は、プラグアダプターT-56 (別売) をご使用になると接続できます。
- ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないように。特に、CDを演奏するときにはご注意ください。

## ステレオ機器の音を聞いたり録音するには



- 1 本体のFUNCTIONボタンまたはリモコンのLINEボタンを押して表示部に「LINE」を表示させる。
  - 2 接続した機器を演奏状態にする。
- ◆録音するには、デッキBにテープを入れ録音状態にします。
  - 本機の表示部にサウンド、重低音レベル、音量/入力レベルを表示させるためには、リモコンのDISPLAYボタンを押してテープカウンター表示にしてください。  
([P.67](#)ページ)

# タイマーの使いかた

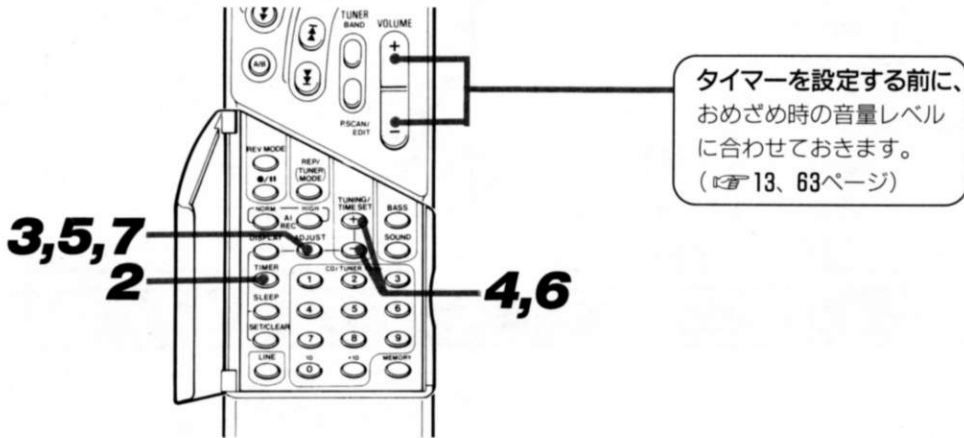
## タイマーで音楽を聞くには 番号順に操作してください

めざまし代りにラジオ・テレビ音声、テープ、CDなどを鳴らすことができます。

おめざまし時に音がだんだん大きくなるフェードイン機能があります。

タイマーは一度設定すれば毎日同じ時刻に働きます。

●タイマーをお使いになるときはAC電源でのご使用をおすすめします。



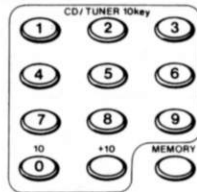
### タイマーを設定する前に

使う音源に合わせて準備します。

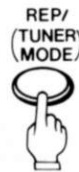
#### CDを聞く



ディスクを入れる。

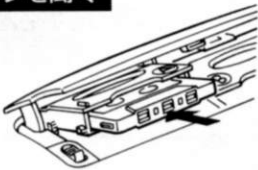


プログラム演奏の場合(17~18ページ)



繰り返し演奏の場合(20ページ)

#### テープを聞く



テープを入れる。

(両方のデッキにテープがある場合は、デッキAを再生)

REV MODE



(65ページ)

DOLBY NR再生をする場合は、本体のDOLBY NRボタンで表示部に「DOLBY NR」を表示させる。

#### ラジオ・テレビ音声を聞く おめざまし時の放送を受信します。(☞27、30ページ)

TUNER BAND



(27、30ページ)



(27ページ)



(27ページ)

TUNING/TIME SET



(30ページ)

REP/(TUNER) MODE



受信モード(25ページ)

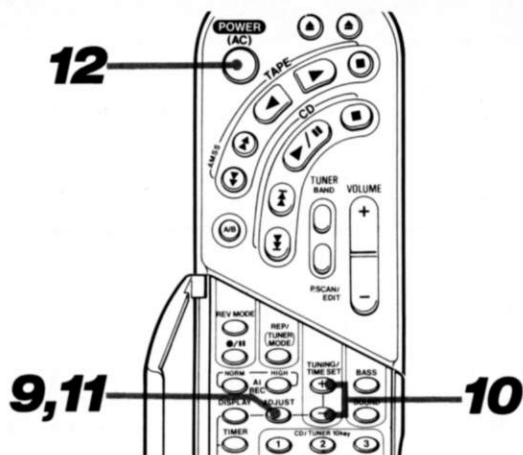


(例) CD演奏で午前7時30分におめざめし、午前8時15分まで聞きます。

操作とはたらき		表示
<b>1</b>	タイマー動作させたいファンクション、チューナーの場合はご希望のバンドと放送局にします。 ご希望の音量レベルにしておきます。	(例) CDでおめざめ 
<b>2</b>	TIMERボタンを押す。 前回設定されたON時刻が表示されます。	(例) 
<b>3</b>	10秒以内にADJUSTボタンを押す。 「TIMER」、「ON」、「時」表示が点滅します。	(例) 
<b>4</b>	TIME SETボタン(⊕または⊖)を押して「時」表示を合わせる。 ●ボタンを押し続けると、「時」表示は連続的に進みます。	(例) 
<b>5</b>	ADJUSTボタンを押す。 「TIMER」、「ON」、「分」表示が点滅します。	(例) 
<b>6</b>	TIME SETボタン(⊕または⊖)を押して「分」表示を合わせる。 ●ボタンを押し続けると、「分」表示は連続的に進みます。 ●「分」表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰り上がりません。	(例) 
<b>7</b>	ADJUSTボタンを押す。 これでON時刻の設定が終わりました。 今度は、「TIMER」、「OFF」、「時」表示が点滅します。	(例) 
<b>8</b>	上記 <b>4~6</b> と同様にOFF時刻を合わせる。	(例) 

# タイマーの使いかた (つづき)

タイマーで音楽を聞くには (つづき) 番号順に操作してください



操作とはたらき		表示
<b>9</b> ADJUST 	ADJUSTボタンを押す。 これでOFF時刻の設定が終わりました。 前回設定されたタイマー動作モード(「PLAY」または「REC」)と「TIMER」が点滅し、現在のファンクションが表示される。	(例) CDの録音 
<b>10</b> TUNING/TIME SET 	TIME SETボタン(⊕または⊖)を押して「PLAY」を選ぶ。 ●ボタンを押すたびに「PLAY」と「REC」が交互に変わります。	(例) 
<b>11</b> ADJUST 	ADJUSTボタンを押す。 点滅が止まり元の表示に戻ります。 「TIMER」表示が点灯します。	(例) 
<b>12</b> POWER (AC) 	POWERボタンを押して電源を切る。 表示部のバックライトが消え、現在時刻表示、「TIMER」表示が残ります。 本体のPOWERボタンが点滅します。 (乾電池でご使用の場合は、バックライトは消えたままで、POWERボタンは点滅しません。)	(例) 

これでタイマー演奏(再生)のセットが全て終わりました。

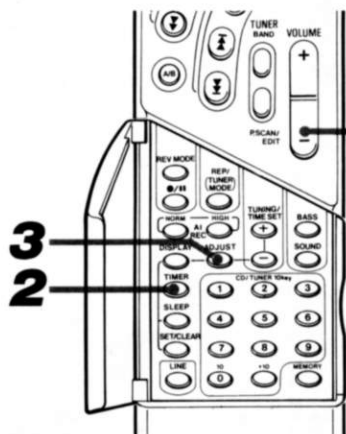
◆これでタイマーON時刻がくると、自動的に設定した内容で電源が入り、無音状態から設定された音量レベルまでフェードインします。

●TAPEファンクションの場合は、必ず正方向(▶)から再生を始めます。  
 タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。

■タイマー動作中にPOWERボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。

## 留守録音をするには 番号順に操作してください

設定した時刻に自動的に電源を入れ、お好みのラジオ・テレビ音声を留守録音することができます。  
一度設定すれば、毎日同時刻の番組を留守録音することができます。



留守中音を出さないため、  
タイマーを設定する前に、  
音量レベルを最小にしぼ  
っておきます。  
(13、63ページ)

### タイマーを設定する前に

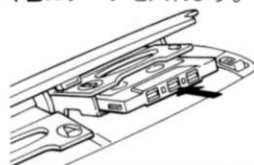
ご希望の放送局を受信  
します。

(27、30ページ)

受信モードを決めます。

(25ページ)

デッキBにテープを入れます。



REV MODE



(33ページ)

DOLBY NR 録音を  
する場合は、本体の  
DOLBY NR ボタン  
で表示部に「DOLBY  
NR」を表示させる。

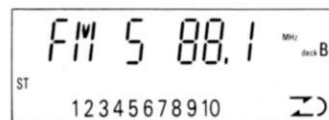
(例)午後2時45分から午後3時15分までFM放送を留守録音します。

### 操作とはたらき

### 表 示

**1** 留守録音する放送局を受信します。

(例)FM放送のプリセット番号5の  
88.1MHzを受信

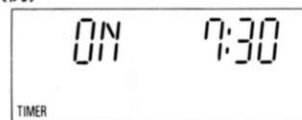


**2** TIMER



TIMERボタンを押す。  
前回設定されたON時刻が表示されます。

(例)



**3** ADJUST



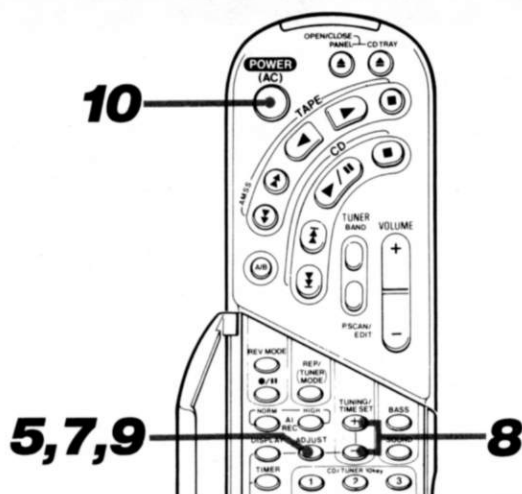
10秒以内にADJUSTボタンを押す。  
「TIMER」、「ON」、「時」表示が点滅します。

(例)



# タイマーの使いかた (つづき)

留守録音をするには (つづき) 番号順に操作してください

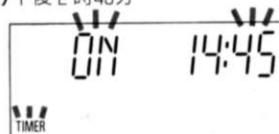


## 操作とはたらき

## 表示

**4** 56ページの**4~6**の要領でON時刻を合わせる。

(例) 午後2時45分



ADJUST ボタンを押す。  
これでON時刻の設定が終わりました。  
今度は、「TIMER」、「OFF」、「時」表示が点滅します。

(例)



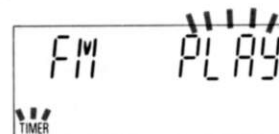
**6** 56ページの**4~6**の要領でOFF時刻を合わせる。

(例) 午後3時15分



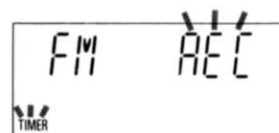
ADJUST ボタンを押す。  
これでOFF時刻の設定が終わりました。  
前回設定されたタイマー動作モード(「PLAY」または「REC」)と  
「TIMER」が点滅し、現在のファンクション(チューナーの場合はパ  
ンド)が表示される。

(例) FM放送を聞く



TIME SET ボタン(⊕または⊖)を押して「REC」  
を選ぶ。  
●ボタンを押すたびに「REC」と「PLAY」が交互に変わります。

(例) RECを選択



操作とはたらき		表示
<b>9</b> ADJUST 	ADJUSTボタンを押す。 点滅が止まり元の表示に戻ります。 「TIMER-REC」表示が点灯します。	(例) 
<b>10</b> POWER (AC) 	POWERボタンを押して電源を切る。 表示部のバックライトが消え、現在時刻表示、 「TIMER-REC」表示が残ります。 本体のPOWERボタンが点滅します。 (乾電池でご使用の場合は、バックライトは消えたままで、POWERボタンは点滅しません。) これで留守録音のセットが全て終わりました。	(例) 

◆これでタイマーON時刻がくると、自動的に設定した内容で電源が入り、録音を始めます。

- 録音は、必ず正方向(▶)から始まります。
- 誤消去防止用のツメが折れたテープでは録音されません。

タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。

#### タイマー録音後、誤って録音されることを防ぐために

設定された留守録音の内容で、毎日録音するような場合、録音は常に正方向(▶)から始まりますので、誤って前の録音を消去してしまう恐れがあります。これを防ぐためには、1回の録音が終わったら、必ずテープを入れ替えてください。

### タイマーの内容を確認するには

設定されたタイマーの内容を確認するには、電源を入れた状態で、

- 1** TIMERボタンを押す。  
ON時刻が10秒間表示されます。
- 2** 10秒以内にTIMERボタンを押す。  
OFF時刻が10秒間表示されます。
- 3** 10秒以内にTIMERボタンを押す。  
タイマー動作モード(「PLAY」または「REC」)とファンクションが10秒間表示されます。
- 4** 10秒以内にTIMERボタンを押すと元の表示に戻ります。

●内容を変更するときは、**1、2、3**の操作で変更したい表示を出し、前記の「タイマーで音楽を聞くには」または「留守録音するには」の要領で操作してください。

### タイマーを解除したり再び同じ内容でセットするには

タイマーが動作待機状態になっているときは、電源を入れた状態で、

- 1** TIMERボタンを押す。  
ON時刻が10秒間表示されます。
- 2** 10秒以内にSET/CLEARボタンを押す。



「TIMER」(または「TIMER-REC」)が消えタイマーが解除されます。

上記**1、2**の操作を繰り返すたびに、動作待機状態⇄解除で交互に変わります。

- 3** POWERボタンを押して電源を切る。

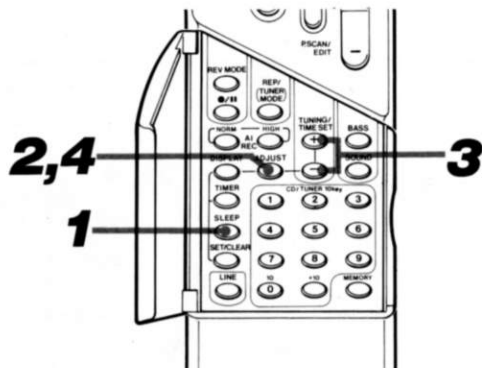
# タイマーの使いかた (つづき)

## 音楽を聞きながら眠る(スリープ)には 番号順に操作してください


スリープ時間は10分～120分の中から10分間隔で選べます。

スリープ終了時には、音がだんだん小さくなって消えるフェードアウト機能があります。

スリープの設定内容は記憶されます。



(例)現在動作中のファンクションで30分後に電源が切れるようにします。

操作とはたらき		表示
<b>1</b>  SLEEP	SLEEPボタンを押す。 前回セットされたスリープ時間が表示されます。	(例) 
<b>2</b>  ADJUST	10秒以内にADJUSTボタンを押す。 「SLEEP」とスリープ時間が点滅します。	(例) 
<b>3</b>  TUNING/ TIME SET	TIME SETボタン(⊕または⊖)を押して、ご希望のスリープ時間を表示させる。 ●⊕ボタンを押すたびに次の順でスリープ時間が変わります。(⊖ボタンの場合は逆の順番) 	(例)30分 
<b>4</b>  ADJUST	ADJUSTボタンを押す。 元の表示に戻り、「SLEEP」表示が点滅します。 表示部のバックライトが暗くなります。(乾電池でご使用の場合は、バックライトは消えたままです)	(例)FM放送でおやすみ 

これでスリープタイマーのセットが終わりました。

◆スリープ残り時間が1分になると、だんだん音が小さくなり、残り時間が無くなると電源が切れます。



## 同じ内容で再びスリープをセットするには

- 1** SLEEPボタンを押す。  
前回のスリープ時間が10秒間表示されます。
- 2** スリープ時間が表示されている間に、SET/CLEARボタンを押す。

SET/CLEAR



元の表示に戻り、「SLEEP」表示が点滅し、スリープ状態になります。

上記**1**、**2**の操作を繰り返すたびに、スリープ状態⇄解除で交互に変わります。

## ◆おやすみ(スリープ)→おめざめ(ON-OFFタイマー)の連続動作ができます。

おやすみ時とおめざめ時に動作させるファンクションを変えることもできます。

- 1** 55~57ページの「タイマーで音楽を聞くには」の**1**~**11**の要領でON-OFFタイマーを設定します。(電源が入った状態で「TIMER」が点灯していること)
- 2** 前ページの**1**~**4**の要領でスリープをセットします。

# その他の機能・ご参考に



## 乾電池は正しく使いましょう

乾電池を正しくお使いにならないと、乾電池の内部に水素ガスなどが発生し、「破裂」や「液漏れ」の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 極性（プラス⊕、マイナス⊖）を確かめて、機器の表示どおり正しく入れてください。
- 交換するときは、一度に全部、新しい同じ種類の電池と取り替えてください。  
新しい電池と古い電池、アルカリ電池とマンガン電池など、混ぜて使用しないでください。
- 使い切った電池は、分解したり、加熱したり、火の中へ投げ込んだりしないでください。
- 電池は、風通しのよい涼しいところに保管してください。  
高温や多湿の場所での保管はしないでください。
- 電池は、ショートさせたり、充電したりしないでください。
- ご使用後は、POWERボタンを押して電源を切っておいてください。

**ご注意** 万一、漏れた電解液が皮膚に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。また機器についた電解液は十分に拭き取ってください。

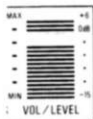
## 音量レベルと入力レベル表示について

音量レベル（バー表示とdb値）と各音源の入力レベル（バー表示）が表示部に次のように表示されます。

### ●入力レベル表示（ピークホールドレベル表示）になるとき

CDファンクション	表示部に「PLAY」が表示されているとき
TAPEファンクション	再生中・曲の頭出し（AMSS）中・表示部に「REC」が表示されているとき
チューナーファンクション	入力レベル表示
LINEファンクション	入力レベル表示

(例)入力レベル表示

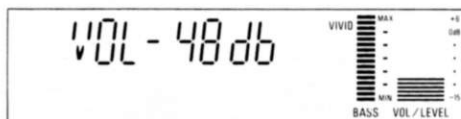


### ●音量レベル表示になるとき

上記以外の場合は、表示部の「VOL/LEVEL」の表示は音量レベル表示（7段階のバー表示）になります。電源が入った状態で、本体のVOLボタンまたはリモコンのVOLUMEボタンを押すと、そのときの表示部の表示内容にかかわらず現在の音量レベルをdb値で約2秒間表示します。

押し続けるとバー表示とdb値を確認しながら音量を変えることができます。

(例)音量レベル表示

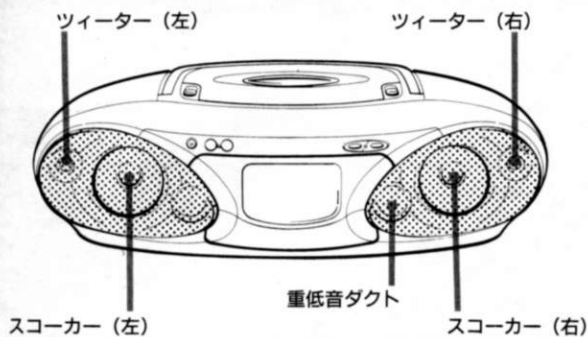


-48db

「2」のレベル  
(バー表示が6本点灯)

・db値は「---db（最小）→-78db→-76db→-74db→---→-2db→-0db（最大）」のように2dbずつ変わります。

## 3D方式について



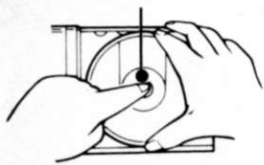
本機は3D (3-Dimensional stereo system) 方式を採用しています。3D方式とは、人間の聴覚が、非常に低い周波数の音 (重低音) に対して方向感覚が鈍いことを利用したスピーカーシステムで、ステレオ再生でも、重低音だけはL (左)、R (右) を共通にして、1本の重低音用スピーカーから再生する方式です。そのため、Lチャンネル、Rチャンネル用アンプに加え、重低音アンプを使用し、R両方の信号から低音域成分のみを取り出して出力するようになっています。

本機のスピーカーシステムは、左右のスクーカーとツィーターに加え、密閉式の重低音用スピーカーが内蔵されており、重低音は右側スクーカーの左にある重低音ダクトにより放出されます。

## ディスクの取扱いと保管について

### ●ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さえ



演奏面に触れないように持って出す。

レーベル面を上にして…



上から押さえて入れる。

●レーベル面に紙を貼ったり字を書いたりしない。

●ディスクは曲げない。

### ●ディスクの保管について

必ず専用ケースに入れて保管ください。

直射日光の当る所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

## カセットテープの保管について

ご使用後は所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、チリ・ホコリの多い場所やカビの発生しやすい場所はさけて保管してください。

## AMSSについてのご注意

ミュージックテープなどの曲間の無録音部分 (約4秒以上) を検出することにより自動的に頭出ししますので、次のようなときは正常に動作しないことがあります。故障ではありません。

- 無録音部分の短いテープ (約4秒以下) を使用のとき。
- 音楽などの中で特に音の小さい部分があるテープを使用のとき。
- 曲間に大きな雑音などが録音されているようなテープを使用のとき。
- 曲間に大きな雑音があるレコード演奏を録音したテープを使用のとき。
- 本機をテレビの近くに置いて使用した場合、テレビなどからの電波の影響でAMSSが正常に動作しないことがあります。このような場合には、本機をテレビから離してください。

## ドルビー Dolby NR (ノイズリダクション) システムについて

テープ再生中に生じる高域のテープヒスノイズ (サーという雑音) を減らすシステムです。

録音時に、雑音が耳につきやすい高域の小音量の部分のレベルを上げて録音し、再生時にレベルを上げた分だけ減衰させて、もとのレベルに戻します。このとき、同時に耳につきやすい雑音も低減されます。

本機にはDolby NRのBタイプを搭載しています。

- Dolby NRにより録音したテープをDolby NRボタンをOFFにして再生したり、Dolby NR OFFで録音したテープをDolby NRボタンをONにして再生すると、原音に忠実な再生ができません。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。



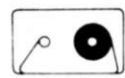
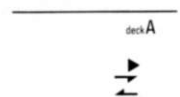

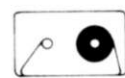
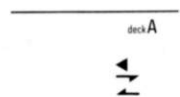


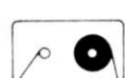

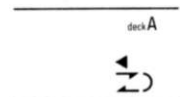






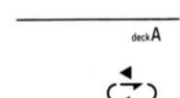

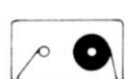
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

# その他の機能・ご参考に (つづき)

## リバースモードとテープ走行方向について

デッキAとデッキBはともにオートリバース機構を備えていますのでリモコンのREV MODEボタンを使って、テープを裏返すことなく連続してお楽しみいただけます。

リバースモードは、REV MODEボタンを押すたびに次のように切り換わります。

リバースモード	は た ら き	表 示
<b>片道再生</b> REV MODE  「E」を点灯させる。	<b>正方向 (おもて面)</b>  スタート →  オートストップ	
	<b>逆方向 (うら面)</b>  オートストップ  ← スタート	
<b>往復再生</b> REV MODE  「E」を点灯させる。	<b>正方向 (おもて面)</b>  スタート →  オートストップ	 
	<b>逆方向 (うら面)</b>  オートストップ  ← スタート ●逆方向からスタートした場合は、片道再生となります。	
<b>連続再生</b> REV MODE  「E」を点灯させる。	<b>正方向 (おもて面)</b>  スタート →  オートストップ	 
	<b>逆方向 (うら面)</b>  オートストップ  ← スタート ●オートストップは働きません。テープを止めるときは■ボタンを押してください。	

## 消去のしかた

録音したテープに新しく録音すると、前の録音は自動的に消去されますが、新しく録音しないで消去するときは次のようになります。

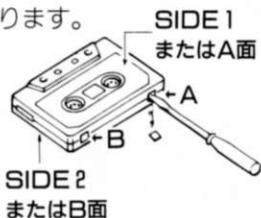
- 1** MIXING MIC端子やLINE IN端子からマイクやコードをはずす。
- 2** リモコンのLINEボタンを押して表示部に「LINE」を表示させる。
- 3** デッキBに消去するテープを入れる。
- 4** REV MODEボタンを押して表示部にご希望のリバースモードを表示させる。
- 5** デッキを録音状態にする。

## 大切な録音を消さないために

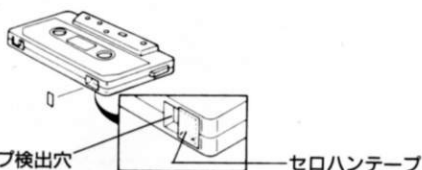
カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。

SIDE 1 または A面…ツメA

SIDE 2 または B面…ツメB



誤って折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさぐと録音できるテープに復元します。ただし、クロームテープ検出穴はふさがなくてください。



## 著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）のもよりの支部（下記参照）におたずねください。

### 日本音楽著作権協会

北海道支部	TEL. 011(221)	5 0 8 8
盛岡支部	TEL. 0196(52)	3 2 0 1
仙台支部	TEL. 022(264)	2 2 6 6
大宮支部	TEL. 048(643)	5 4 6 1
東京支部	TEL. 03(3562)	4 4 5 5
西東京支部	TEL. 03(3232)	8 3 0 1
横浜支部	TEL. 045(662)	6 5 5 1
静岡支部	TEL. 054(254)	2 6 2 1
中部支部	TEL. 052(586)	1 1 5 5
北陸支部	TEL. 0762(21)	3 6 0 2
京都支部	TEL. 075(251)	0 1 3 4
大阪支部	TEL. 06(244)	0 3 5 1
神戸支部	TEL. 078(322)	0 5 6 1
中国支部	TEL. 082(249)	6 3 6 2
四国支部	TEL. 0878(21)	9 1 9 1
九州支部	TEL. 092(441)	2 2 8 5
鹿児島支部	TEL. 0992(24)	6 2 1 1
那覇出張所	TEL. 098(863)	1 2 2 8

## 時計の24時間表示⇄12時間表示切替について

本機の時計は工場出荷時に、**24時間表示**にセットされていますが、**12時間表示**に切り換えることができます。次のようにして切り換えてください。

- 1** ACコードを接続して電源を入れる。
- 2** 本体のFUNCTIONボタンを押して表示部に「TAPE」を表示させる。
- 3** リモコンのDISPLAYボタンを押して表示部の表示を「**現在時刻表示**」（☞67ページ）に切り換える。
  - 必ず時間表示部に現在時刻が表示されている状態にしてください。
- 4** リモコンのMEMORYボタンを押しながら、本体の■ボタンを押す。そのときの12時間表示に変わります。  
(例) 13:00. → PM 1:00.

- ボタンを押すとき、リモコンと本体のリモコン受光部との間をさえぎらないようご注意ください。

再度**4**の操作をすると**24時間表示**に戻ります。

# その他の機能・ご参考に (つづき)

## 動作中に現在時刻表示やテープカウンター表示を確認したいとき

リモコンのDISPLAYボタンを押すと、押すたびに次のように表示モードが切り換わります。



### CDファンクション時



### TAPEファンクション時



### チューナーファンクション時



### LINEファンクション時



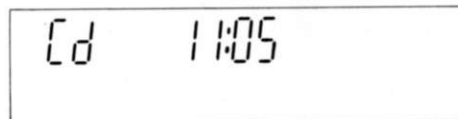
- 電源を入れたときや、ファンクションを切り換えたときは、上記※の表示モードになります。
- 現在時刻表示に切り換えたときは、10秒後に※の表示モードに戻ります。
- 表示部を現在時刻表示にしたとき、サウンド、重低音レベル、音量/入力レベルを表示させるためには、リモコンのDISPLAYボタンを押してテープカウンター表示またはファンクション表示にしてください。

(表示例)

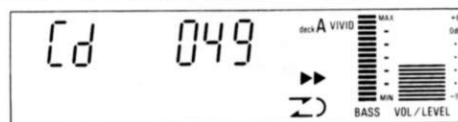
- CDファンクション時のCD表示



- CDファンクション時の現在時刻表示



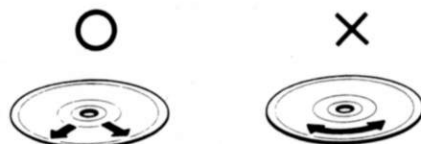
- CDファンクション時のテープカウンター表示



## ディスクのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

ディスクは必ず矢印方向にふいてください。



必ず内側から外側へ

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。



## AMとFM放送は海外でも受信いただけます

- 単1形乾電池でご使用の場合に限ります。海外では電源電圧が異なるため、AC電源では使用しないでください。
- 本機のAMステレオ受信回路は米国モトローラ社の放送方式に対応していますので、その他の放送方式では受信できません。
- TVバンドは使用できません。

受信周波数を切り換えるには

**1** 変更するバンド(AMまたはFM)を受信します。

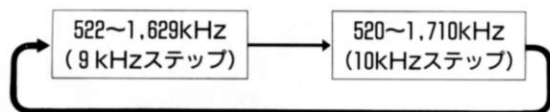
- 必ず表示部にバンドと周波数が表示されている状態にしておいてください。

**2** リモコンのMEMORYボタンを押しながら、本体の■ボタンを押す。

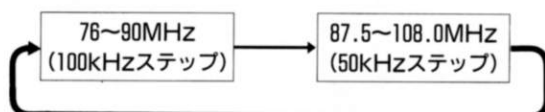
- ボタンを押すとき、リモコンと本体のリモコン受光部との間をさえぎらないようご注意ください。
- AMまたはFMバンドの最低周波数を受信します。プリセットメモリーは初期状態になります。

上記 **1**、**2** を繰り返すと受信周波数が次のように変わります。

AMバンド



FMバンド



### ●受信周波数一覧表

バンド	受信周波数	ご使用いただける主な地域				
		日本	北米	欧州	東南アジア	中近東
AM	522~1,629kHz(9 kHzステップ)	○		○	○	○
	520~1,710kHz(10kHzステップ)		○			
FM	76~90MHz(100kHzステップ)	○				
	87.5~108.0MHz(50kHzステップ)		○	○	○	○

- 海外の一部の地域では受信できないことがあります。

## ヘッド部のクリーニングについて

ヘッドとキャプスタン、ピンチローラーは常にテープと接触していますので汚れやすく、特にヘッド面にゴミや磁粉が付着すると、「音質が悪い」、「きれいに録音できない」、「前の音が消えない」、「テープが巻きつく」などの原因になります。

定期的(約10時間使用ごと)にヘッド部を清掃してご使用ください。

市販のクリーニングテープをご使用になるのが便利です。詳しくは、クリーニングテープの説明書をごらんください。

### ヘッドの消磁

長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。市販のイレーサー(消磁器)で定期的にヘッドの消磁をしてください。詳しくはイレーサーの説明書をごらんください。

## キャビネットのクリーニングについて

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石けん水を少し布につけてふきとり、からぶきしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようご注意ください。

# その他の機能・ご参考に (つづき)

## 故障? その前にちょっとこれを

操作を誤っていてもなかなか気がつかず、すぐ故障と思いがちですが、修理にお持ちになる前にもう一度次の点をお確かめください。それでも異常のある場合は、電源を切り、ACコードをコンセントから抜いて、お買上げ販売店へご連絡ください。

こんなときは		ここをご確認ください
CD関係	演奏がはじまらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクの位置がズレていませんか?</li> <li>●ディスクを表裏逆に入れていませんか?</li> <li>●ディスクに露がついていませんか?</li> </ul>
	特定の箇所が正しく演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが汚れていませんか?</li> <li>●ディスクに傷がありませんか?</li> </ul>
テープ関係	録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープの誤消去防止用のツメが折れていませんか?</li> </ul>
	自動頭出しでテープが停止しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープに無録音部分がつくられていますか?</li> <li>●無録音部分のスペースは約4秒以内になっていませんか?</li> <li>●曲間に雑音などが録音されていませんか?</li> </ul>
その他	操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●セットが露付き状態になっていませんか? (約1時間待ってから操作してください。)</li> <li>●電源を乾電池に切り換えたとき、ACコードが本体に差しこまれたままになっていませんか?</li> <li>●ON-OFFタイマーがセット(動作待機状態)されていませんか?</li> </ul>
	パネルやCDトレイが正常に開閉しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パネルの下に障害物がありませんか? (パネルが開ききっていない)</li> </ul>
	タイマーが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の電源がONになっていませんか? →POWERボタンを押して電源を切る</li> </ul>
リモコン関係	リモコンで操作できない、または操作できても正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの乾電池は正しく挿入されていますか?</li> <li>●乾電池が消耗していませんか?</li> <li>●CDやテープはセットされていますか?</li> <li>●リモコンと本体との距離が離れすぎたり、途中で障害物がありますか?</li> <li>●リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に正しく向けていますか?</li> <li>●リモコン受光部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)が当たっていませんか?</li> </ul>

- お願い**
- 表示や動作が異常になった場合は、単1形乾電池と時計/メモリーバックアップ用乾電池をはずし、ACコードをコンセントから抜いてください。まもなく表示が消えますので、その後約3分程度待ってから再度ACコードをコンセントに差し込み、乾電池を元通りに入れ操作し直してください。この場合、時計や各種メモリーをセットし直してください。
  - 単1形電池が消耗すると、「カセットホルダーが開かない」、「テープが動作しない」、「CD演奏中に動作しなくなる」、「動作中に電源が自動的に切れる」などの状態になることがあります。このような場合は、新しい乾電池に交換するか、AC電源で操作してください。

### ON-OFFタイマーを解除したいとき

POWERボタンが点滅しているときはタイマーが動作待機状態になっています。  
解除方法については60ページをごらんください。

# アフターサービスについて

## 保証書について

この商品には保証書がついています。お買上げの販売店が発行します。保証書の「販売店・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保存してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

## 修理サービスについて

ご使用中に具合が悪くなったときは前ページの一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は  
保証書の記載内容により販売店が修理いたします。  
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは  
修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間について

テープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。

- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## アフターサービスについてご不明の場合は

お買上げの販売店か、お近くの「お客様ご相談窓口」(下記参照)にお問い合わせください。

- 転居される場合は  
ご転居によりお買上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合には事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答品の場合は  
最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

## お客様ご相談窓口

### 三洋製品についてのご相談や修理はお買上げ販売店へお申し出ください

三洋製品のご相談や修理は、お買上げの販売店が承ります。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、お近くの下記の窓口にご相談ください。お電話をおかけの際は、電話番号をよくお確かめください。

北海道地区				近畿地区			
北海道テレビジョンセンター 003 札幌市白石区中央3条4-1-36 TEL011(831)9200				近畿テレビジョンセンター 0570 守口市竹町8 TEL06(993)2251			
(北海道)	函館 0138(22)6745	旭川 0166(22)2421	釧路 0154(22)1576	(大阪府)	大阪 06(631)4001	(奈良県)	奈良 07442(2)7888
札幌 011(831)9201	室蘭 0143(44)0583	北見 0157(23)4871	帯広 0155(24)4973	(京都府)	京都 075(677)0877	(滋賀県)	大津 0775(45)4221
東北地区				四国地区			
東北テレビジョンセンター 0981-12 名取市飯野坂3-4-6 TEL022(382)5616				四国テレビジョンセンター 0761-01 高松市高松町2175-10 TEL0878(41)9621			
(青森県)	青森 0177(76)6524	(秋田県)	秋田 0188(62)6551	(香川県)	高松 0878(43)1840	(愛媛県)	松山 0899(71)3342
(岩手県)	八戸 0178(28)9225	(山形県)	山形 0236(41)1769	(徳島県)	徳島 0888(60)0229	(高知県)	高知 0888(60)0229
(宮城県)	盛岡 0196(35)0136	(山形県)	仙台 022(232)6141	(徳島県)	徳島 0886(99)4131	(高知県)	高知 0888(60)0229
関東地区				中国地区			
関東テレビジョンセンター 0335 埼玉県戸田市新善南3-16-3 TEL0484(43)9111				中国テレビジョンセンター 0739-03 広島市安芸区中野東4-5-59 TEL082(892)2934			
(東京都)	千代田 03(5256)1671	(山梨県)	甲府 0552(26)2561	(広島県)	広島 082(293)8511	(岡山県)	岡山 0862(71)1134
城北 03(3958)1261	練馬 03(3995)5571	(神奈川県)	横浜 045(711)2871	(福山県)	福山 0849(25)3455	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 03(3995)5571	練馬 03(3607)3191	(神奈川県)	横浜 045(711)2871	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 03(3607)3191	練馬 03(3685)8166	(千葉県)	千葉 043(241)7311	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 03(3685)8166	練馬 03(3884)5456	(千葉県)	千葉 043(241)7311	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 03(3884)5456	練馬 03(3421)5171	(千葉県)	千葉 043(241)7311	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 03(3421)5171	練馬 0423(64)7721	(千葉県)	千葉 043(241)7311	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 0423(64)7721	練馬 0426(91)1141	(千葉県)	千葉 043(241)7311	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
練馬 0426(91)1141		(千葉県)	千葉 043(241)7311	(岡山県)	岡山 0862(71)1134	(山口県)	山口 08397(3)3391
新潟・北陸地区				九州地区			
新潟サービスセンター 0950 新潟市近江244 TEL025(285)2431				九州テレビジョンセンター 0918 筑紫野市大字紫150-1 TEL092(924)3414			
金沢サービスセンター 0920 金沢市割出町627 TEL0762(37)7811				(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
(新潟県)	長岡 0258(24)0705	(富山県)	富山 0764(31)8641	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
長岡 0258(24)0705	長岡 0255(43)3535	(富山県)	富山 0764(31)8641	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
長岡 0255(43)3535		(富山県)	富山 0764(31)8641	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
中部地区				沖縄地区			
中部テレビジョンセンター 0491 愛知県一宮市下沼町3-21-1 TEL0566(71)6960				沖縄サービスセンター 0901-21 浦添市城間4-35-5 沖縄三洋販売サービス部 TEL 098(878)3411			
(愛知県)	名古屋 052(451)3161	(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
名古屋 052(451)3161	名古屋 052(931)7153	(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
名古屋 052(931)7153	豊橋 053(54)7249	(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
豊橋 053(54)7249	岡崎 0564(23)3418	(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
岡崎 0564(23)3418	半田 0569(22)2165	(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
半田 0569(22)2165	一宮 0566(71)4181	(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451
一宮 0566(71)4181		(静岡県)	静岡 054(261)4151	(福岡県)	福岡 092(441)2541	(佐賀県)	佐賀 0952(22)3451

●電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

(D0401)

# 仕 様

## CDプレーヤー部

S N 比	90dB (EIAJ)
ワウ・フラッター	測定限界以下
サンプリング周波数	44.1kHz
復号化	16ビット直線
エラー訂正方式	CIRC (クロスインターリーブリードソロモンコード)
ピックアップ	光学式3ビーム半導体レーザー (波長790nm)

## テープレコーダー部

トラック方式	4トラック 2チャンネル ステレオ
録音方式	交流バイアス (デッキB)
消去方式	交流消去 (デッキB)
テープ速度	4.8cm/秒
録音時間	往復60分 (C-60)
早巻き時間	110秒 (C-60) (デッキA) 110秒 (C-60) (デッキB)
周波数範囲	ノーマルテープ40~14,000Hz クロームテープ40~15,000Hz メタルテープ 40~16,000Hz

## 時計部

精度	月差 約±30秒 (周囲温度15°Cにて)
表示方式	時、分
電源	AC 100V、50/60Hz DC 15V 単1形乾電池(SUM-1)×10本(別売) DC 6.0V 単3形乾電池(SUM-3)×4本(別売) (時計/メモリーバックアップ用)
水晶振動数	32,768Hz

\*上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

\*包装箱の品番の末尾のアルファベット文字は色表示の記号です。

色は異なっても操作方法と仕様は同一です。

### ●お客様メモ

お買上げの際に記入しておいてください。修理などを依頼される  
とき便利です。

品番	PH-PR910
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げの販売店名	
	☎

## チューナー部

受信周波数	TV: 1~3ch FM: 76~90MHz AM: 522~1,629kHz
アンテナ	TV/FM: ロッドアンテナ AM: フェライトアンテナ内蔵

## 共通部

スピーカー	10cm 円形 5.7Ω×2 10cm 円形 6Ω×1 ツイーター×2
実用最大出力	4W+4W+12W(重低音) (EIAJ/DC)
入力端子	MIXING MIC端子(ミニジャック)×1 適合マイクインピーダンス200~600Ω、 入力感度3mV LINE IN端子(ピンジャック)×2 入力インピーダンス47kΩ、入力220mV
出力端子	PHONES端子(ステレオミニジャック)×1 インピーダンス 32Ω
電池持続時間	サンヨー・スーパーSUM-1(S)×10本 使用時 約2時間30分(EIAJ・テープ再生時、 ボリューム最大の80%程度) 約3時間30分(EIAJ・FM録音時) 約2時間00分(CD連続演奏時、 ボリューム最大の70%程度)
電源	AC 100V、50/60Hz DC 15V、単1形乾電池(SUM-1)×10本
消費電力	42W
最大外形寸法	568.5(幅)×160(高さ)×255(奥行)mm (つまみ等突起物含む。ハンドル含まず) パネルオープン時の奥行312mm
重量	約7.3kg(乾電池を含む)
付属品	ACコード×1、リモコン×1 単4形乾電池×2本(リモコン用)

## 三洋電機株式会社

本 社 〒570

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 電話大阪(06) 991-1181

東京本部 〒110

東京都台東区上野1丁目1番10号 電話東京(03)3835-1111

AV事業本部AV国内営業部 〒570

大阪府守口市大日東町1番1号 電話大阪(06) 901-1111